

OBM COMMUNICATIONS こみゅにけ～しょんず

NEWS

2022年度 OBM総会開催

特 集

業界を支える仲間達

2022年OBM優良社員表彰

トピックス

ビルメンエッセイ大賞表彰

アビリンピック大阪大会開催

特 集

OBM機関誌100号

50年を迎えた機関誌[こみゅにけ～しょんず]

2022 盛夏号
VOL 100



発刊当時の大阪ビルメンテナンス協会会報



一般社団法人 大阪ビルメンテナンス協会
Osaka Building Maintenance Association

OSAKA BUILDING MAINTENANCE ASSOCIATION OSAKA BUILDING MAINTENANCE ASSOCIATION
OSAKA BUILDING MAINTENANCE ASSOCIATION OSAKA BUILDING MAINTENANCE ASSOCIATION
OSAKA BUILDING MAINTENANCE ASSOCIATION OSAKA BUILDING MAINTENANCE ASSOCIATION
OSAKA BUILDING MAINTENANCE ASSOCIATION OSAKA BUILDING MAINTENANCE ASSOCIATION
一般社団法人 大阪ビルメンテナンス協会 OSAKA BUILDING MAINTENANCE ASSOCIATION
OSAKA BUILDING MAINTENANCE ASSOCIATION OSAKA BUILDING MAINTENANCE ASSOCIATION
OBM COMMUNICATIONS OSAKA BUILDING MAINTENANCE ASSOCIATION
OSAKA BUILDING MAINTENANCE ASSOCIATION OSAKA BUILDING MAINTENANCE ASSOCIATION
OSAKA BUILDING MAINTENANCE ASSOCIATION OSAKA BUILDING MAINTENANCE ASSOCIATION
OSAKA BUILDING MAINTENANCE ASSOCIATION OSAKA BUILDING MAINTENANCE ASSOCIATION
こみゅにけ～しょんず VOL **100**
2022盛夏号

CONTENTS

〈ごあいさつ〉

大阪ビルメンテナンス協会 会長 佐々木 洋信	2
------------------------	-------	---

〈特 集〉

会報こみゅにけ～しょんず 100 号記念	
私と OBM こみゅにけ～しょんず 歴代広報委員が綴る 4

〈ニュース〉

2022 年度 OBM 総会開催 12
------------------	----------

〈トピックス〉

ビルメンエッセイ大賞 表彰 14
アビリンピック大阪大会 16

〈特 集〉

業界を支える仲間達	
2022 年 OBM 優良社員表彰 (永年勤続社員 永年委員派遣企業) 18

〈OBM 委員会・部会活動報告〉

総務友好委員会 31
労務委員会 33
環境衛生委員会 37
万博推進委員会 47
警備防災部会 49
設備保全部会 54
賛助会世話人会 57

〈賛助会コーナー〉 59
-----------	----------

〈KKC 通信〉

KKC 事業のごあんない 72
--------------	----------

編集後記 74
------	----------

ごあいさつ

一般社団法人 大阪ビルメンテナンス協会
会長 佐々木 洋信



2022年7月27日、大阪の新型コロナウイルス感染者数が2万1,000人となり、過去最高の感染者数になりました。

今年の1月、アメリカ、イギリス、フランスなどにおいては1日の感染者数が23万、9万、12万人と発表された時、日本では有り得ないと、軽い気持ちで考えていたことを少し後悔しています。感染予防対策をしっかりとっている日本でも、この「オミクロン株、BA. 5」の感染力、スピードは強く、早く、瞬く間に第七波に至りました。

今後、感染したとしても、インフルエンザとして扱われることを願い、「コロナと共に」を念頭に置いての生活は一昨年から考えて行わっていますが、今一度再確認し、感染防止に努めていきたいと思います。

大阪協会は初回の緊急事態宣言以降、大阪府のコロナ対策指示に従って、協会運営を進めてきました。今後も変わりなく努めて参りますので、ご理解、ご協力をお願い致します。

協会事業に於ましては、5月25日、通常総会をホテルニューオータニ大阪で開催し、決算、事業計画など、ご承認を戴きました。コロナ禍によって、事業活動は制限されて来ましたが、今年から徐々に集会、大会、懇親会など以前の事業活動を取り戻していきたいと思います。

特に委員会活動では大阪・関西万博博覧会推進委員会において、ワーキンググループを設立し、提案書、企画書、マニュアルなどの策定に取り組み、3月25日に万博協会に提案書を提出致しました。少しづつですが、大阪・関西万博の概要の資料がホームページに上がり、8月4日付、「会場内清掃・廃棄物管理基本計画策定調査業務」の公募がありました。8月末までに作成し、提出の予定です。この公募は万博会場清掃受託に役立つものであると思われますので、積極的に取り組んでいきます。

そして、大阪協会の広報誌「OBM こみゅにけ～しょんず」にも万博推進委員会からの活動報告、万博関連情報を掲載し、会員皆様に2025年の大阪・関西万博の機運を高めて頂きたく思っております。

OBM

大阪協会の月ごとの活動情報はホームページでの「OBM MONTHLY・大阪ビルメンテナンス協会マンスリー」であります。協会行事予定、委員会報告、理事や委員会メンバーによる散文などを掲載しています。

そして、「OBM こみゅにけ～しょんず」は新春号、盛夏号（1月、9月）として、年2回の発行しており、上半期、下半期の実績・活動報告書、出来事、特集などを掲載しています。

この度、2022年盛夏号「OBM こみゅにけ～しょんず」が発行・100号を迎えました。創刊号は1963年6月15日、藤田 勉氏（朝日建物管理株）、木村 悅雄氏（関西建物管理株）が事業広報部より「会報」の名称として発行されました。そして同時に、6月15日は大阪協会の前身である「大阪ビルメンテナンス懇和会」から「大阪ビルメンテナンス協会」へ発展的に改称し、会員相互のコミュニティーの場として、また対外的に業界のPR活動などを目的として創刊されました。

1997年1月10日発行を最後に「会報」（田邊 千尋氏・建美商事株）から「OBM こみゅにけ～しょんず」（安江 貞夫氏・近鉄ビルサービス株）に名称を変更し、現在に至っております。100号記念特集として、歴代の広報委員のコメント集を掲載しております。当時の思いが伺えると思いますので、ご一読ください。

大阪協会の設立を少しご紹介させていただきました。2023年6月15日は「大阪ビルメンテナンス協会・創立60周年」に当たります。大阪協会としては記念行事を企画しております。来年6月頃には新型コロナウイルス感染症も終息することを願い、会員皆様と60周年記念式典を楽しく迎えたいと思います。

最後に、まだ新型コロナウイルス感染の衰えが見えません。大阪ビルメンテナンス協会は現状に則して事業活動を実施してまいります。会員皆様にはいち早く情報提供を行ってまいりますので、ご理解、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

OBM 会報【こみゅにけ～しょんず】発刊100号

発刊 100 号を記念して

OBM 副会長 澤村 剛士

「OBM こみゅにけ～しょんず」発刊 100 号、誠におめでとうございます。毎回、鮮度の高い情報発信のために尽力され、ここまで継続されましたことに敬意を表したいと思います。

新型コロナウイルスは変異を続け、ついに第 7 波に入りました。熱中症や夏風邪もあり発熱外来が混み、人々の不安は増すばかりです。当初よりコロナ禍がもたらした大きな影響は、国や地域での人々の移動制限や、自粛による経済的損失をまねきました。また、人々は距離を取ることを求められ、マスク着用の日々は続き、取り残されたように感じた人々は、孤独や不安にさいなまれました。

このような状況の中で、人は一人では生きられない。社会の基盤は、人と人のつながりなのだと、困難の中から知ることとなったのではないかでしょうか。

言葉を伝え、受け取るためのコミュニケーションには、様々なツールがあります。見る、話す、聞く、臭う、肌触りなど五感に訴えるものです。その中でも視覚による情報の収集は全体の 8 割を超えると言われています。スマホの画面、本、雑誌、新聞記事、TV など映像や目から入れる情報は印象に残りやすいものです。

OBM にとって「こみゅにけ～しょんず」は、大阪ビルメンテナンス協会の情報誌として様々な役割を果たしてきました。

エッセンシャルワーカーとしての生の声や、現場の実情を届けてきました。さらに、業界の向上、

発展のための最新情報など、協会員にとって欠かせない存在になってきたのではないでしょか。人と人が繋がるためにには、情報や考えを伝達するツールが必要になりますが、正にそれに当たります。

100 号を迎えて、益々生きた情報をタイムリーに届ける情報誌として、これからも輝き続けることを期待しています。

改めて、広報委員会の皆様のご尽力に心から感謝し、お祝いの言葉と致します。

創刊号から第 5 号の OBM 会報▼



こみゅにけ～しょんず発刊 100 号に寄せて

OBM 副会長 下村 康信

OBM 会員の皆様、平素は OBM 活動・運営にご理解・ご協力・ご支援を頂き誠にありがとうございます。

こみゅにけ～しょんず 100 号発刊にあたり、広報委員会の皆さん又初回発刊より今までご尽力いたきました歴代の広報委員会メンバー皆様にお礼を申し上げたいと存じます。

こみゅにけ～しょんずにおいて私の毎回の楽しみは、特集記事であります。

タイムリーな話題や最近気になっていることなど興味深いものなどを取り上げ詳細に掲載されていると感じます。

委員会・部会報告にお

いても今どのような事柄に注目しているのかが手に取るようにわかり OBM 全体の動きが可視化されています。

委員会活動は業界で必要な各パートを委員会毎に調査・研究を行っています。そしてその中でも、業務に直結する部会活動は、会員皆様のお役に立つものばかりだと感じております。ビルクリーニング部会・警備防災部会・設備保全部会の 3 部会は、受益者負担でありますが、ビルメンテナンス業の 3 つの柱である 3 業務に特化したものです。情報、知識を得るための「もってこい！」の集まりです。是非とも部会に参加し見識の向上に役立てて頂きたいと感じます。

このような情報満載の会報こみゅにけ～しょんずですが、私自身、特に会員企業の皆様に読んで頂きたいと思っております。情報の習得と社内コミュニケーション等にお使いいただければ幸いです。

OBM においては他に情報発信媒体として、ホームページを運用しております。更新タイミングでタイムリーにホームページを見に行くことはなかなか難しいと思われますが、こちらも覗いて頂ければと思います。

多様化している現在では、様々なニュースソースを提供頂いているこの会報をもう少し多く（年 3 回）拝見出来ればと私自身思っております。

今後とも『こみゅにけ～しょんず』を宜しくお願い致します。



私と広報委員会

広報委員会委員長在任 1995 年 4 月～ 2005 年 3 月

田邊 千尋

OBM会報 100号記念企画として「私と広報委員会」としてお題を頂きました。

私が委員の時に、会報の名前を「コミュニケーションズ」として発刊致しました。何時ひらがな表記になったのか記憶は定かでございませんが、後の委員長が変えられたと思います。

OBMマンスリーができる迄は、理事会ニュースとして、月刊誌のビルメンタイムス（社主 藤原忠嗣氏）に掲載してもらっていました。費用の事もあり自前で発行する事になりました。紙面も広くなり委員会・部会に枠を埋めて頂くのですが、初めての事もあり原稿がなかなか集まりません。大変苦労しました。

私にとって一番思い出深いのは、OBM創立 40 周年の時でした。「大阪ビルメン文学大賞」を会員企業の従業員の方々から募集を致しました。

多くの方々から応募いただいたのですが、ビルメン業がいかに仕事の種類が多岐に渡っているかを痛感致しました。

そして、一つ一つの仕事に皆さまが真摯に取り組んでおられるかを知る事が出来ました。

文章としてはつたないものもありましたが、仕事に対する情熱はひしひしと伝わって参りました。評価基準は心に伝わってくる事を第一条件として選考致しました。

「ヒューマンフェア '97 in 大阪」を担当した事もあり、「ビルメンテナンス総合資機材展」も広報委員会担当で行いました。

賛助会の皆様には非常にお世話になり感謝に絶えません。

私の広報委員長としての最後の集大成として、創立 40 周年記念誌「^{かぜ}斬嵐を創ろう」を刊行致しました。手前味噌ですが、再度読み返して見ましても、20

年後の現在も充分通じる内容だと自負しております。

私は優秀なスタッフに恵まれ、毎月のマンスリー、年 2 回の会報を通じて自己研鑽を積む事が出来ました。広報委員会に貴重な人材を送り出して頂いた企業の役員の方々には大変感謝しています。

10 年近く広報委員長をさせて頂いた経験上、人は思いもかけない能力を発揮してくれる事があります。先ずは地位を与える事により人の持っている能力が発揮されるものです。多分現在も広報委員会はスタッフ不足だと思うのですが、各企業のトップの皆様、社員の研修と思って、応募して頂くと業界の情報はいち早く収集出来ますし、大事な原石を磨く事が出来ると思います。

一度、お試し頂く事を提案致します。

編集委員

田 煙 了 昭和22年7月23日生（36才）



(獅子座)

チーム・リーダー
中 鳩 将 人サブ・リーダーとして事務局を担当。
ハイテックへのアプローチこそがビルメンの未来を約束する。

私たちが若大将格。

佐 藤 奥 延 昭和22年7月18日生（36才）



(蟹 座)

“最大数の最大幸福”が特論。ハイテックは我々の基本。ハイテックに適応し、高付加価値のニーズを生み出したい。田畠氏とのコンビで若手のリーダー。



石 原 鮎 昭和19年8月10日生（39才）

(獅子座)
未来の社会のニーズに応える高度な専門知識をもった人材の育成が何よりも急務である。ビルメン大学の主唱者。

盛 義 夫 昭和23年3月3日生（35才）



(魚 座)

ビルメン企業も社会に提言力をもつ実力（技術力・知識力）を身につけて、設計・施工段階から参画して行きたい。

佐々木 洋 信 昭和26年6月3日生（32才）

(双子座)
21世紀まであと17年、我々が背負って行く企業としての自觉を持って、挑戦してみたい。

私と広報委員会

広報委員会委員長在任 2007 年 4 月～ 2011 年 3 月

OBM 会長 佐々木 洋信

1983 年 12 月 1 日に発行された「社団法人大阪ビルメンテナンス協会・二十年誌」に弘報委員会（当時名称）の編集委員として、私は初めて協会委員会の活動に参加いたしました。外部への文章作成は一度も経験がなく、苦手であり、今に至っても同様であります。当時の担当理事・松井雄三委員長（互光建物管理株）と中嶋将人副委員長（株セイビ大阪）にアドバイスを、参加メンバーの方々に手助けを頂きまして最後まで参加が出来ましたこと、私の大きな財産になったと思います。

そして、2007 年 4 月に初めて大阪協会の理事に就任し、中島光雄様（第一建築サービス株）が副会長（広報委員長）の下に配属されました。24 年前の弘報委員会と違って、今回は作成して

まとめる立場で前回と違った難しさがあり、委員長、委員会メンバーに教わりながら広報委員会を進めて行った思いがあります。

2011 年から、私が担当副会長になり、広報委員長・内藤修平様（朝日建物管理株）は元朝日新聞記者であり、季刊誌のアイデア、文章作成、校正などは完璧にして頂きました。そして 2013 年からも続いて朝日建物管理株・大西信治様に委員長をお願いし、内藤様と同じく記者出身で、私の挨拶文の添削をして頂き、惚れ惚れする文章にしてくださいました。

長年、見てきましたが広報委員の皆様は文章能力が素晴らしい、当時広報委員であった、巽一雅様（株下村工務店）は紀行本を出版されたほど達筆がありました。

私は広報委員会の担当に当たっては、素晴らしい優秀な委員長、委員の皆様に恵まれて、先代からの「大阪協会・広報委員会」の大いなる遺産を継承出来て、心から感謝申し上げます。

一般社団法人大阪ビルメンテナンス協会広報委員会を引き続きよろしくお願ひ致します。

細谷 匡 宏 昭和31年9月3日生（27才）

（乙女座）

将棋は大局観をもって判断すべし。目先の駒得よりも10手先、20手先を読みでせめらべし。（将棋4段）

赤井 正 雄 昭和12年12月25日生（45才）

（山羊座）

先端技術力、機械力、高度な知識力の集合体のシステムを開発し、働く人達が十分な報酬を受けられる付加価値の高い産業にしたい。

北村 隆 昭和13年3月8日生（45才）

（魚座）

ソフトとハードの業界における価値を創造し、ビルメン新起業時代の“引き金”になりたい。社会的に光る産業にすることが夢。

安江 貞 夫 昭和10年12月9日生（47才）

（射手座）

“技術と人間性の調和”が特論。ビルメン企業は建物の医者でありたい。技術部門のリーダー。

西川 章 道 昭和13年12月26日生（44才）

（山羊座）

ビルメン企業はあくまで人間が主役で、先端技術は従の関係である高度な技術を持った専門家を育成するのが急務である。

◀ 1983 年 12 月 1 日発行「社団法人大阪ビルメンテナンス協会・二十年誌」に掲載されている弘報委員会（当時名称）の編集委員

広報委員会の思い出

広報委員会委員長在任 2011 年 4 月～ 2013 年 3 月

内藤 修平

「OBM こみゅにけ～しょんず」100号記念おめでとうございます。

私は 2009 年に理事に就任した際、「新聞記者をされていたのだから」と広報委員会に配属され、2011 年からは広報委員長を務めさせていただきました。委員会は、毎月の「OBM マンスリー」のほか、年 2 回「OBM こみゅにけ～しょんず」（新春号と盛夏号）を発行していました。これとは別に創立 50 周年の 2013 年には「創立 50 周年記念誌」や、マンスリー集「OBM 人語」第Ⅲ集の発行にもかかわりました。

「OBM こみゅにけ～しょんず」で特に印象に残っているのは 2011 年盛夏号です。東日本大震災の直後でした。なんとかして大震災を特集したいと思いましたが、取材にも行けず途方にくれました。そこで、被災した岩手県と宮城県、福島県の 3 ビルメン協会に特別寄稿をお願いすることにしました。大震災から 4 ヶ月。それどころではないだろう、断られるのを覚悟してお願いしたら、3 県協会とも気持ちよく応じてくださいました。届いた 3 県協会のレポートを読んで被害の大きさに委員の皆が唖然とさせられました。会員企業の中には犠牲者も多く、会社の存続さえ危ぶまれるような状況が伝わってきました。会社が持ち堪えても取引先企業の多くが倒産てしまっている。福島のビルメン業界の損失は 23 億円を超すとも書かれています。表紙は衝撃的な津波の写真にしました。ショッキングすぎないか、という意見もありましたが、ありのままを伝えたいと踏み切りました。大震災を特集として残せたことの意味は大きかったと思いました。

「OBM マンスリー」は毎月 25 日に発行。1 面に会長の言葉やトピックスを掲載していましたが、実務的な記事も増やそうと「そこが知りたい Q&A」

の大型コラムを新設しました。他のコラム「ズームアップ」や「随筆」などは理事の方々が持ち回りで執筆。委員会・部会報告や訓練センターだよりなどの原稿は事務局のスタッフがまとめました。

楽しかったのは毎月末の委員会です。原稿のゲラ刷りを手分けして校正しました。目を通したら自分のサインを書き込む。一本の記事を最低二人が目を通す。字数が多ければ削り、意味が通じなければ修正する。作文教室ではないので本人の文章をできるだけ尊重しました。どこの部分を残すか、委員によって修正の仕方はまちまちで、毎回活発な意見が出ました。あの時の若い人々との意見交換が今も思い出されます。

「創立 50 周年記念誌」の取材でも印象に残る出会いがありました。ある OB を訪ねたら「会報」を創刊号からずっと保管していました。目を通すと創立の経緯や思い出話など草創期の意欲的な記事で埋まっていました。「ビルメンテナンス」という言葉は和製英語で、当時の東京ビルメンの会長さんの造語だったこともそこで知りました。 OBM の初代会長は藤森春太郎さんという方で、朝日建物管理株式会社の社長。私の先輩でした。因縁のようなものを感じました。

「こみゅにけ～しょんず」がさらに発展することをお祈りいたします。



広報委員会活動中！

広報委員会委員長在任 2017 年 6 月～現在

笹岡 之洋

2017年に広報委員長となって、すぐに盛夏号「こみゅにけ～しょんず vol.90」の編集計画会議に参加し、編集後記を書くこととなりました。

それまでは、他の委員会に所属しており、委員会活動などの執筆依頼に対し寄稿していたことはありました。自分が企画や校正、編集に携わり、会報を作成する立場になるとは予想もしておりませんでした。経験豊富な広報委員のメンバーに交じって、編集・校正を行う委員会で自分の意見を言うまでには少し時間がかかりました。

執筆分の校正は、手慣れた広報委員各自が事前に確認したうえで委員会に集まり検討、校正作業をしています。今でも、自分が執筆を担当している編集後記や理事コラムなどで、目の前でその文章が校正し修正される過程ではドキドキしています。

広報委員会活動には、年 2回の会報と毎月 25 日に発行されます月刊誌「OBMマンスリー」のほか、不定期に発行される刊行物や、委員会による現地取材など様々な取り組みをしています。担当

の副会長や理事のほか、委員 4名とオブザーバーで構成され、現在は 8名という少人数で行っています。(広報活動に興味のある方は是非ご参加ください)

月刊誌は毎月発行となりますので、他の委員会が休みとなる 8月も広報委員会は開催されます。会報は新年号と盛夏号になっていて、それぞれ年末の 12月と真夏の 8月の時期に委員会が追加で開催されることにより、年 14回の委員会開催となりこれに不定期で外部取材が追加されるという結構ハードな活動状況となっています。

また、コロナウイルス感染症により委員会活動が制限されている中でも、初校データの事前配布や webによる委員会開催を通じて、定期発行物を欠かさずに発刊してきました。

広報委員会の定期的な取材活動としては、「ビルメンヒューマンフェア &クリーン EXPO」の視察報告や「天神祭 清掃ボランティア活動」への参加のほか、「優良社員表彰式」、「定時総会」、「新年会」などの大阪協会の定例行事での写真撮影に

参加を続けています。また、「ビルメンこども絵画コンクール」入賞作品の展示と表彰式も行っています。

広報委員会の企画では「エッセイ大賞」の開催と優秀作品の発刊、過去の OBMマンスリーをまとめた「OBM人語」の発刊をしてきました。その他にも、JR西日本メンテック様の「研修センター」や環境衛生薬品様の「PCR検査機関」などの訪問取材も行いました。



環境衛生薬品様で PCR 検査を見学



アンケート調査活動で、「外国人技能実習生などの受け入れについて」「大阪北部大地震の対応」、「新型コロナウイルス緊急事態宣言」について、会員企業にアンケート調査を実施し回答をいただきました。

「OBMマンスリー」は、表紙やレイアウト構成のリニューアルをして見やすくしました。巻頭原稿では会員各社から「我が社のイチオシ」と題しまして、独自の事業内容やご自慢の社員さまについて、ご寄稿を頂いております。他にも「理事コラム」や委員会・部会の「ズームアップ」などで構成しています。編集雑感については、広報委員全員が順番で身の回りで起きた出来事で気になったことを呟いています。

近年の「OBMこみゅにけ～しょんず」では、新型コロナウイルス感染症の影響により、各委員会部会が開催できず、恒例行事などの活動も自粛されることが多くなりました。その結果として、各委員会部会活動の活動報告が集まりにくく状況が続いています。

また、ニュースやトピックスのほか特集記事については、広報委員会の編集計画会議において「業

JR 西日本メンテック様の「研修センター」を見学取材



界関連で関心の高いテーマ」を検討しておりますが、ネタ探しに苦労しているのが現状です。

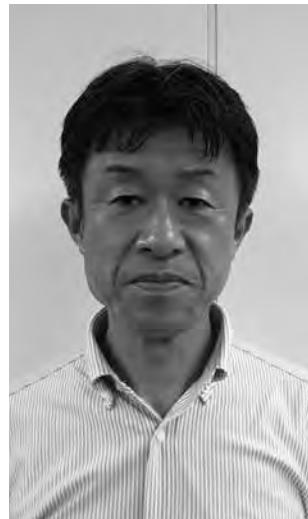
この度はおかげ様で、「OBMこみゅにけ～しょんず vol.100」を発刊することとなりましたが、これからも業界を取り巻く現状について広く情報提供していくことを心掛け、「OBMこみゅにけ～しょんず vol.200」発刊を目指して参りますので、会員企業の皆様のもとに広報委員会からの原稿依頼や取材要請がありました際につきましては、ご理解ご協力と今後もご愛読賜りますようお願い申し上げます。

大阪ビルメンテナンス協会会報〈こみゅにけ～しょんず〉の制作に携わる
広報委員会 スタッフ

これからも、ビルメンテナンス業界に必要なタイムリーな情報や、OBMの動き、協会からのお知らせ、業務のための新しい情報などをお伝えしてまいります。
社員の皆さんの意識の高揚や業務の躍進にお役立てください。

広報委員会

副会長 北川 卓
委員長 笹岡 之洋
副委員長 南 英夫
委員 服部 哲也
福田 和哉
矢野 かつ美
李 泰倫



北川 卓 副会長 笹岡 之洋 委員長 南 英夫 副委員長



服部 哲也 委員

福田 和哉 委員

矢野 かつ美 委員

李 泰倫 委員

ビルメンエッセイ大賞表彰式

2022 ビルメンエッセイ大賞受賞作決まる

5月25日（水）、ホテルニューオータニ大阪にて「一般社団法人大阪ビルメンテナンス協会2022年度通常総会」が開催され、その席上で「ビルメンエッセイ大賞」の表彰式が盛大に行われました。

今回のビルメンエッセイ大賞は、「新型コロナウイルスとビルメンテナンス」をテーマに、コロナ禍ですっかり変わってしまった社会環境のもと、エッセンシャルワーカーとして感じたことや経験したことを募集したところ、会員企業の皆様から多数の作品を寄せていただきました。

今回ご応募頂いた作品は、コロナ禍のもと、お客様との交流が成長に繋がったり、仕事への誇りを感じたり、仲間との心温まる交流など、私共が近年立ち向かっている世相を反映したエッセイであり、読

むとその情景が目に浮かぶものばかりです。

本号では、入賞者を代表して「大賞」に輝きましたチャン・クアン・タイ様（太平ビルサービス大阪株式会社）の作品「コロナ禍での私の役割」を全文掲載致しました。どうぞお読みいただき、作者のコロナ禍での仕事に対する熱い気持ちを感じていただければ幸いです。

今回ご応募頂きました作品は、何れも甲乙つけ難い作品でありましたため僅差での結果となりましたことをご報告させていただきます。

ご応募いただきました皆様方には心より御礼申し上げるとともに、次回の「ビルメン物語」を募集する際には是非ご参加いただけますようお願い致します。

ビルメンエッセイ大賞 授賞の言葉

太平ビルサービス大阪株式会社
チャン・クアン・タイ

この度はこのような栄えある賞を頂き、心より感謝申し上げます。

自分の作品が大賞に選ばれたと聞かされた時はすごくびっくりしました。まわりの皆様から祝福の声をかけていただき、自分以上に喜んでくれているのを見るとさらに嬉しくなりました。

コロナ禍において、今私ができることを忘れず、現場とそこで働く仲間を大切にし、これからも頑張ってまいります。今回このような場を与えていただいた協会の皆様にお礼申し上げます。ありがとうございました。



2022 ビルメンエッセイ大賞受賞作品 「コロナ禍での私の役割」

太平ビルサービス大阪株式会社
チャン・クアン・タイ

高い建物が多いせいか、大阪の空は低く感じる。だけど、見上げた空の色はホーチミン市で見てきた空と同じで、今日も青く澄んでいる。

日本に来て6年が過ぎた。新型コロナウイルスの影響もあり、ここ3年は国に帰れていない。日本に来たのは、「おもてなし」と言う日本文化に感銘を受け、日本のホテルで「おもてなし」を学びたいと思ったからである。留学生として日本に来日し、日本語学校からホテルの専門学校に編入、「おもてなし」のできるホテルの仕事を探していた。就職活動中もホテルに関わる仕事をしようとベットメイクのアルバイトを選んだのが、今の会社に入ったきっかけである。

ホテルの現場の人たちは、みんなやさしくて仕事を覚えていくのが楽しかった。また、たくさん会話をするうちに日本語もどんどん上達していった。なによりもこの現場の雰囲気が好きで心地よかった。仕事もベットメイクからフロアリーダーを任せ副責任者の業務をするようになった。

ホテルの専門学校が卒業に近づいた頃、会社の上司からホテルの現場だけではなく、いろいろな現場があることやビルメンテナンスという仕事を教えてもらった。私の国にも同じような仕事があるかもしれないが、詳しいことは知らなかった。ビルメンテナンスという仕事を自分で調べていくうちに、この仕事が興味深くなっていた。

元々おもてなしとは、「誰かに何かをしてあげる」ということである。私はホテルでおもてなしの仕事をする事にこだわっていたが、ビルメンテナンスという仕事を調べていくうちに、管理する現場はもっと多く、また、清掃だけでなく設備や警備などの仕事もあり覚えなければならないことはたくさんあるが、がんばればがんばるほど、おもてなしをすればするほどお客様に感謝される仕事であり、ビルメンテナンスの仕事こそ「おもてなし」の心を出せる仕事だと思った。また、現場や会社の雰囲気が好きで一緒に仕事を続けていきたいと思った。お客様だけでなく一緒に働く人達がいつも笑顔でいられるように、現場の仲間達にもおもてなしができる仕事をしたいと思うようになった。いくつかのホテルから内定はもらっていたが、この会社で引き続きみんなと働きたいと上司にお願いした。

就労ビザを取ってもらい社員となり、ホテル以外の現場も担当することになった。上司からは、ホテル以外の現場を管理するのにビルクリーニング技能士の資格取得を勧められた。技術のレベルアップは、お客様への良いサービスに繋がると思い頑張って練習をした。途中何度も諦めかけたが、周りの人たちに応援してもらい、また同じように受験する仲間達とお互いを励ましながら練習し3級に合格することができた。ここでは同じ目標をもった仲間の大しさを知ることができた。

資格を取りホテル以外の現場も担当し仕事をしていたところ、新型コロナウイルスが流行りだした。新型コロナウイルスは、生活様式に大きな変化をもたらし、多くのものを奪っていった。私の大好きなホテルの現場は、稼働がなくなりなくなってしまった。現場で仕事をしていた30人の仕事がなくなり、何人かは他の現場に異動となつたが、長い間勤めていたパートさん達と別れることになり本当に辛かった。

コロナ禍はまだまだ収束しない。これからはコロナと共生していくなければならない。

コロナ禍での私の役割は、エッセンシャルワーカーの一員として新型コロナウイルスとたたかい、大好きな現場と従業員を守ることだ。

また、今は来日する外国人も少なく、技能実習生の仕組みも止まってしまっているが、コロナ禍が収まれば、自分の特技を生かし一人でも多くの外国の方がビルメンテナンスの仕事に興味をもってもらい、仕事ができる手助けとなっていきたい。わたしの会社には社歌があり「平和の虹を掛け渡し、世界の人の友となる」という歌詞がある。私はこのフレーズが大好きである。

大阪の空はあいかわらず低く感じる。だけど、見上げた空はホーチミン市を超えて世界の人々へと繋がっている。

大好きな職場と一緒に働く人たちを守るために、私はこの会社でがんばっていきたい。

アビリンピックおおさか ビルクリーニング種目補佐員としてはじめて関わって

公益・契約委員会委員 今井 剛志

2022年7月2日(土)、摂津市にあるポリテクセンター関西にて『アビリンピックおおさか2022』(主催:独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構 大阪支部 アビリンピック事務局)のビルクリーニング種目が開催されました。

2011年、ビルクリーニングが『アビリンピックおおさか』の競技種目となり、(一社)大阪ビルメンテナンス協会の運営協力として、公益・契約委員会が担当しています。

当協会の役割は、ビルクリーニング種目に関わる事前練習会の実施(現在は新型コロナウイルス感染拡大防止のため休止)、会場設営、競技の審査員・補佐員の配置です。

アビリンピックおおさか ビルクリーニング種目の補佐員として初めて、前日準備から競技の運営、片付けに関わりました。当日は暑いぐらいの天気の良い日で、室内競技とは言え、水分補給に気を配りながら、選手が交替するごとに消毒を行うなど、新型コロナウイルス感染症対策に気を使わなければならぬアビリンピックとなりました。

いざ競技が始まると、各選手が十分に練習をしてきているなと感じました。観客が見守る中で、キビキビと規定通りの手順・行動をしていく姿を



見て、ほとんどの選手が時間内に競技をこなしており、また緊張するであろう舞台に立って競技をする姿は、この日のために相当練習してきたことが伺えました。各選手を見ていますとスピード感や躍动感、はきはきとした声に多少違いはあるものの一生懸命に動いている姿は、感動に値するものでした。順調に競技がトラブルなく終わったのも、各選手の練習の賜物であり、何事においても当たり前ですが、準備・練習の必要を再認識させられました。

補佐員として選手の準備に関わって、何気ない準備であるモップ柄の長さ調整やダスタークロスの取り付けなどをしている時、手が震えている選手もいて、緊張している雰囲気が伝わってきたので、「ゆっくりね」、「あせらずに」と声掛けをしていました。無事に競技を終えるのをみてほっとした気分になっていました。

前日準備をしている際に、床面の凹凸があり、多少気になるかなと思っていましたが、選手が競技をしている時に、「引っかかったり」、「すべりが悪いといけない」と言う意見があり、急遽フリーアクセスの床をめくりレベル調整をしました。効果のほどは分かりませんが、無事に競技が終了したことで少しほは役に立ったかなって思うことが出来て良かったです。

7月5日には、アビリンピックおおさか2022の審査結果が公表されています。今回、競技に参加された選手から、大阪府知事賞に選ばれた方が、11月に開催される第42回全国障害者技能競技大会(開催地:千葉県 幕張メッセ)への出場権を獲得されます。大阪府代表としてご健闘をお祈りいたします。



【審査委員長講評】

**アビリンピックおおさか
ビルクリーニング種目審査委員長 下村 康信**

コロナ禍に関わらず、アビリンピックおおさか2022ビルクリーニング競技者は、日頃の練習の成果を存分に発揮され、作業の流れを充分に理解され取り組んでいたと好印象を持ちました。また上位入賞者に至っては躍動感（リズム感）があり素晴らしいと感じました。しかし競技の質向上を目指す上で今後期待する項目としては、各作業（除塵・水拭き・イスの上げ下ろし等）において

ては、ただ作業を行うだけでなく、資材の取り扱い方・取り扱いの注意点など各項目の完成度を上げる必要があり結果として綺麗さ・清潔度の向上に繋がり、選手の皆様の日頃のお仕事の向上にも寄与すると思います。

最後に大阪府知事賞を受賞された選手は全国大会を視野に入れ上記の点を重視し練習に励んで頂ければと思います。

業界を支える仲間達

コロナ渦をのりこえ業務に邁進するビルメン社員

委員長 岡田 寿代

2022年

OBM 優良社員表彰

永年委員派遣企業・永年委員(専門委員会／委員・部会)永年職員

今年度の表彰は、優良社員表彰 35 名。永年委員派遣企業 15 年表彰 1 社、7 年表彰 2 社。永年委員 専門委員 15 年表彰 2 名、7 年表彰 1 名。永年委員 委員会・部会 15 年表彰 1 名、7 年表彰 3 名。永年役員表彰 15 年 1 名、7 年 2 名。永年職員表彰 15 年 1 名でした。皆様、おめでとうございました。

今年度の表彰式も、新型コロナウイルス感染症拡大防止策のもと、無事に開催することができました。



OBM委員会・部会活動報告 総務友好委員会

総務友好委員会活動報告

委員長 岡田 寿代

2022年度優良社員表彰式が7月7日（木）、ホテルビナリオ梅田にて開催されました。コロナ禍である為、ホテル側と新型コロナウイルス感染症対策の打合せを重点的に行い、開催に向けて準備を進めてまいりました。当日は会員企業13社から推薦された35名の方々が表彰されました。今回、受賞された皆様は、新型コロナウイルス感染症の影響が長期化している中でも、業務への情熱が変わることなく日々邁進されていると、会員企業様からの推薦理由を拝見し、心を打たれまし

た。その場に立ち会えました事を大変光栄に感じております。また協会に貢献して頂きました会員企業、会員企業から派遣された委員・役員の方々の表彰も同時に行われました。多くの会員企業様にご出席いただき、とても感動的な式典となりました。表彰式の後は、新型コロナウイルス感染症対策を取りながら、2019年以来となる懇談パーティーを開催し、bingo大会も盛り上り、ご出席の皆様方との親交が温められたと思っております。



表彰式の後は、新型コロナウイルス感染症対策を取りながら、2019年以来となる懇談パーティーを開催

OBM委員会・部会活動報告

総務友好委員会



35名の方が表彰されました会



懇談パーティーは岡田委員長の手締めで閉幕

本年度も OBM ソフトボール大会は中止といたしました。参加チームの募集を開始した 5 月は減少傾向にあった新型コロナウイルス感染症ですが、7 月・8 月になると第 7 波に入り感染が急拡大しました。そのような状況で大会を開催されるのかといったお問い合わせや、出場辞退のご連絡もあり、安心・安全な大会運営は困難であると

判断いたしました。3 年連続の中止は当委員会としても苦渋の決断となりました。大会開催を楽しみにされていた皆様には誠に申し訳ございませんが、2023 年の開催に向けて前向きに進んでいきたいと思っております。

続いて、秋の行事 OBM 会長杯ゴルフコンペを 10 月 6 日（木）北六甲カントリー倶楽部にて開催します。8 月中旬頃に、会員企業様へご案内をお送りする予定しております。

また、秋の行事には OBM 日帰り懇親旅行もありますが、新型コロナウイルス感染症の状況もありますので、開催についてしばらく検討してまいりたいと考えております。楽しみにされている皆様、暫くお時間をいただけましたらと思います。

新型コロナウイルス感染症の影響で行事の中止・開催時間の短縮等、会員企業の皆様にはご迷惑をおかけしております。新型コロナウイルス感染症が落ち着きましたら、総務友好委員会メンバー一同、行事で皆様と盛り上がりていきたいと考えておりますので、奮ってのご参加お待ちしております。また、行事に参加するだけでなく、会員企業の皆様に楽しんでいただく行事の企画・運営等の活動を一緒に行う総務友好委員も募集中です。

優良社員表彰式次第 2022年7月7日 ホテルビナリオ梅田

表彰式（太陽の間）
開式の辞
会長挨拶
優良社員表彰
永年委員派遣企業表彰
7年表彰
永年委員（専門委員）
15年表彰・7年表彰
永年委員（委員会・部）
15年表彰・7年表彰
永年役員
15年表彰・7年表彰
永年職員
15年表彰
受賞者代表謝辞
近鉄ファシリティーズ株式
休憩
懇親会パーティー
祝辞ならびに乾杯
中締め挨拶
閉式

司会 岡田委員長
北川副会長
佐々木会長

The image features a central black and white photograph of a man in a dark suit and tie, wearing a white face mask, standing behind a podium and speaking into a microphone. He is positioned within a large, dark circular frame. In the foreground, the back of another person's head and shoulders are visible, looking towards the speaker. The background is slightly blurred, showing rows of seated spectators. The entire composition is set against a light gray background that is heavily textured with a repeating pattern of the letters "OBM". A solid black rectangular box is placed above the speaker's head, containing the text "2022年度 優良社員表彰" in white, bold, sans-serif Japanese characters.



佐々木会長が受賞の皆様にお祝いのメッセージ

小野 洋一様

樺 畠 監事
下 村 副 会長



今年度授賞式に参加の受賞者の皆様

優良社員表彰

(敬称略)



勤続
22年

株式会社大阪ダイケンビルサービス
今北 須磨子

推薦理由 2000年1月に入社し、病院現場を経験され、現在はオフィスビルの現場責任者として勤務していただいております。オーナー様との関係も良好で、その眞面目で安定した仕事ぶりは他の清掃従事者の模範となっております。



勤続
17年

株式会社大阪ダイケンビルサービス
伏見 真弓

推薦理由 学卒で入社後、係員として経験を積み 2018年1月に神戸市内の病院現場で副責任者となる。その後、病院現場での副責任者としての経験を評価され、2021年11月に新規病院現場の主任として抜擢された。立ち上げ対応にも尽力し、その勤務姿勢は契約先からの信頼も厚く、現場係員の模範となっている。



勤続
13年

株式会社大阪ダイケンビルサービス
前野 薫

推薦理由 工場施設で警備長、官公庁施設で副警備長、オフィスビルで警備長と責任者を歴任、オーナー様や周囲からの信頼も厚く、現在は以前の官公庁施設に戻り、副警備趙として活躍されています。



勤続
10年

環境衛生薬品株式会社
内山 謙

推薦理由 永年業務に奨励し会社発展に貢献したため。



勤続
10年

環境衛生薬品株式会社
原科 成都

推薦理由 永年業務に奨励し会社発展に貢献したため。



勤続
26年

関西マネジ興業株式会社
石床 智大

推薦理由 長年、会社に貢献している為。

優良社員表彰

(敬称略)



勤続
20年

関西マネジ興業株式会社
伊藤 草児

推薦理由 長年、会社に貢献している為。



勤続
29年

近鉄ファシリティーズ株式会社
小野 洋一

推薦理由 繁張感のあるビルで、オーナー様から信頼されている。また、業務に精通しており上司からも厚い信頼を得ており、部下に対する教育も熱心に行っている。



勤続
39年

近鉄ファシリティーズ株式会社
原 幸男

推薦理由 職場の班長として業務を遂行しており、勤務成績が大変優秀である。協力会社とも連携を取り、総合管理を取りまとめ、オーナーからの信頼を得ている。



勤続
11年

近鉄ファシリティーズ株式会社
藏本 純一

推薦理由 百貨店店舗の設備管理において31年の経験があり、電験三種、一級管工事施工管理技士、建築物環境衛生管理技術者や、消防設備他、多数の資格を所持し、ビル設備を熟知している。また、後輩への指導育成にも積極的で常に安全・安心・快適な環境づくりに努めている。



勤続
17年

京阪ビルテクノサービス株式会社
中谷 賢悟

推薦理由 施設管理部において昇降機関係の設備保守業務に精通し、知識・経験も豊富で技術も日々磨いている。上司・部下からの信頼も厚く、自信をもって推薦する。



勤続
16年

京阪ビルテクノサービス株式会社
久保 慎治

推薦理由 施設管理部において設備保守業務に精通し、業務を円滑に運営している。責任感が強く、顧客や部下からの信頼も得ており、事業所の中心人物である。

優良社員表彰

(敬称略)



勤続
10年

株式会社下村工務店
平田 弘子

推薦理由 永年に渡り根気よく勤務に携わり美観維持に尽力した。



勤続
10年

株式会社下村工務店
眞弓 詔子

推薦理由 日頃の業務を、勤務先のオーナー様より高く評価され、品質向上に努めた。



勤続
11年

株式会社下村工務店
中西 光子

推薦理由 日々細部にわたり美観維持に努め、品質向上に貢献した。



勤続
23年

株式会社ジェイアール西日本総合ビルサービス
松葉 長一郎

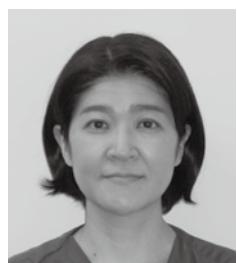
推薦理由 1999年に入社し、23年間ビルメン業務一筋で、現在は天王寺ミオ設備管理センター所長として天王寺の商業施設の責任者をしている。電気主任技術者も兼務しており、瞬時停電などにも迅速な対応を行い、クライアントからの信頼も厚い。安全に対しても感度が高く、リスクアセスメントや KYミーティングなどを部下社員へ熱心に教育するなど技術・技能だけでなく安全に関する次世代への継承に尽力しているため、引き続き今後の活躍に期待も含めここに推薦致します。



勤続
14年

株式会社ジェイアール西日本総合ビルサービス
手島 基行

推薦理由 現在、1日数万人来客する大規模商業施設(ルクア・ルクアイレ)で警備隊長を務めている。前年度は現場責任者として、会社施策である業務改善による効率化(組織一体化による効率化)を実現し、人材確保難に対応する安全担保を維持した要員削減に成功した。さらに心肺停止のお客様を人命救助するなど、年間を通じて無事故で完遂。お客様の安全・安心の確保や快適な空間作りに大きく寄与した。また、部下の指導・育成に力を注ぐとともに、自ら警備員指導教育責任者 1・2・4号、施設警備 1級、雑踏警備 1級の資格を持った模範的な社員である。



勤続
18年

株式会社 JR西日本メンテック
森 やよい

推薦理由 圧力容器取扱作業主任者 普通第1種、第2種滅菌技士、2008年特定化学物質作業主任者、滅菌管理士など業務に必要な資格を着実に取得し自己研鑽を重ねており、2021年度から大阪鉄道病院での滅菌業務の中心として従業員指導やオーナー対応を担っている。また、大阪鉄道病院での作業のみならず、月数回は神戸大学医学部附属地域医療活性化センターへ出向く滅菌作業に従事している。業務に対する前向きな取り組み姿勢により他の従業員やオーナーからの信頼も厚く、今後の更なる活躍が期待される人材である。

優良社員表彰

(敬称略)



勤続
26年

株式会社JR西日本メンテック
金田 浩子

推薦理由 本社総合企画部では長年に亘り総務担当として、社内外の各種会議や行事等の入念な準備やオーナー会社及び加盟団体役員等に対してもスムーズな応対により、円滑な業務運営に貢献した。本社ビルメンテナンス部では主に請求業務を担当し、毎月膨大な件数の請求書を他の社員と協力してスムーズに処理している。繁忙期においても、何事にも手を抜くことなく丁寧な電話対応を行うなど、熱心に業務に取り組み他の社員の模範となっている。



勤続
12年

株式会社JR西日本メンテック
岡村 美恵

推薦理由 大阪鉄道病院から商業施設の清掃を担当する営業所へと異動になったが、準社員の仕事内容を把握しようと進んで担当に入り、問題意識を持って自ら勉強するなど、作業の効率化に積極的に取り組んでいる。当直業務では、チーム全体の動きを把握しオーナー対応や緊急作業の手配にも迅速に対応しつつ、準社員からの声にも真摯に耳を傾けしっかりとコミュニケーションを取っており、他のスタッフや従業員からの信頼も厚い。



勤続
17年

内外美装株式会社
伊藤 俊夫

推薦理由 常に積極的に業務を遂行し、長年社業の発展に大きく貢献している。



勤続
16年

内外美装株式会社
高木 和子

推薦理由 責任者としてお客様の信頼も厚く、社員の模範となっている。



勤続
22年

南海ビルサービス株式会社
堀内 潤

推薦理由 WINS 難波管理所の責任者として従事しており、顧客からの信頼・評価も高い。今後の更なる活躍を期待し、推薦したい。



勤続
19年

南海ビルサービス株式会社
原 寛人

推薦理由 19年間の経験を活かし社内教育の講師を長年担当していると共に主任として部下の指導教育に尽力し人材育成に貢献しているため。

優良社員表彰

(敬称略)



勤続
15年

南海ビルサービス株式会社
吉盛 秀紀

推薦理由 勤務態度も真面目であり、堺東事務所でも担当責任者として業務を遂行している為。



勤続
16年

南海ビルサービス株式会社
北田 年孝

推薦理由 和泉南部リージョンセンター所長として、ビル設備管理に必要な資格を積極的に取得し、集合教育の講師を努め係員の指導・育成にも積極的に取り組む優秀な人材であります。また、活発な提案活動により、お客様が安心して利用できる環境づくりを行い代表企業からの信頼も厚い。



勤続
17年

南北ビルセイビ株式会社
新井 とし子

推薦理由 事業所主任として長年スタッフの指導育成、施設の美観維持と清掃品質の向上に尽力しており、お客様・上司・部下からの信頼も厚く、他の模範となる存在であるため。



勤続
19年

南北ビルセイビ株式会社
吉田 美智子

推薦理由 事業所主任として長年スタッフの指導育成、施設の美観維持と清掃品質の向上に尽力しており、お客様・上司・部下からの信頼も厚く、他の模範となる存在であるため。



勤続
21年

株式会社ビケンテクノ
渡辺 勝彦

推薦理由 他の社員の模範となり、ビルメン業界に寄与した。



勤続
12年

株式会社ビケンテクノ
土井 潮

推薦理由 他の社員の模範となり、ビルメン業界に寄与した。

優良社員表彰

(敬称略)



勤続
10年

株式会社ビケンテクノ
福嶋 勝芳

推薦理由 他の社員の模範となり、ビルメン業界に寄与した。



勤続
10年

株式会社ビケンテクノ
石野 正夫

推薦理由 他の社員の模範となり、ビルメン業界に寄与した。



勤続
10年

株式会社ビケンテクノ
加藤 明陽

推薦理由 他の社員の模範となり、ビルメン業界に寄与した。



勤続
20年

株式会社ビケンテクノ
今中 幸夫

推薦理由 他の社員の模範となり、ビルメン業界に寄与した。



勤続
13年

美素建物管理株式会社
藤木 孝史

推薦理由 得意先および現場の管理に優れた実力を發揮している。

永年委員派遣企業

永年派遣
15年

株式会社 セイキ

永年派遣
7年

近代ビル管理株式会社

永年派遣
7年

株式会社 ケイ・エス・サービス

永年委員（専門委員）表彰

(敬称略)



永年
15年

ビル設備検定委員
西川 静夫
株式会社ジェイアール西日本総合ビルサービス

受賞者コメント

この度は、永年委員表彰を頂き誠にありがとうございます。
委員会、協会の皆様の御指導や御協力を頂いたお陰で15年間続けられました。
今後も貴重な知識技能を得た事を活用できるよう微力ながら貢献出来ますよう努めてまいります。



永年
15年

ビル設備検定委員
吉田 耕二
南海ビルサービス株式会社

受賞者コメント

この度は、永年委員15年表彰をして頂き御礼申し上げます。
15年経つのも早いもので、これもひとえに諸先輩様方のご指導のもと、今日まで出来たものと思っております。
今後は、後継者の育成に努める所存でございますので、宜しくお願ひいたします。



永年
7年

インスペクター講師
松岡 正義
株式会社 JR 西日本メンテック

受賞者コメント

建築物清掃管理評価資格者講習に携わらせて頂き7年になります。諸先輩方ははじめ、色々な方々のご支援があってここまで務めることができましたことに感謝申し上げます。これからもビルメンテナンス業界の発展に貢献できるよう努めてまいりたいと思います。

永年委員（委員会・部会）表彰

(敬称略)



永年
15年

公益・契約委員会

田中 克人
株式会社セイキ

受賞者コメント

この度は永年委員表彰をいただき誠にありがとうございました。

公益・契約委員会を通じて多くの皆様と出会うことができ、またご指導いただきましたこと心から感謝申し上げます。これからも微力ながら委員会、協会の発展のために努力してまいります。



永年
7年

総務友好委員会

滝山 道彦
近代ビル管理株式会社

受賞者コメント

この度は永年委員表彰を賜り、誠にありがとうございます。

総務友好委員会の委員として、会員企業様の親睦を深めるため、様々な行事に携わり大変貴重な経験をさせて頂きました。今後とも微力ではございますが、協会発展のため頑張って参りますので、何卒よろしくお願い申し上げます。



永年
7年

ビルクリーニング部会

岡田 真隆
株式会社ケイ・エス・サービス

受賞者コメント

この度は皆様のお陰をもちまして永年委員7年表彰をいただき誠にありがとうございます。

部会においては数々の貴重な経験をさせていただき心より感謝いたします。

今後とも、ご指導、ご鞭撻の程、よろしくお願ひ申し上げます。



永年
7年

ビルクリーニング部会

竹本 泰治
互光建物管理株式会社

受賞者コメント

この度は、永年委員表彰を賜り、誠に、ありがとうございます。思い返すともう7年も経ったのだな～という思いですが、その間、委員会の一体感のある活動を通じ、様々な素晴らしい体験をさせていただいたこと、感謝に堪えません。今後も、大阪ビルメンテナンス協会の発展のため、微力ながら努めてまいります。

永年役員

(敬称略)



永年
15年

佐々木 洋信
協和ビルサービス株式会社

受賞者コメント

この度は15年永年役員表彰を頂きまして、誠にありがとうございます。

皆様のお支えで、理事、副会長、会長を勤めさせていただきまして、感謝申し上げます。

コロナ禍で大変ご苦労、ご心配をおかけ致しましたが、このことを糧にして、大阪協会発展のために尽力して参る所存でございます。今後ともご指導ご鞭撻のほど、よろしくお願い申し上げます。



永年
7年

北川 卓
美素建物管理株式会社

受賞者コメント

この度は永年役員の表彰をいただきありがとうございます。

協会に対して恩返しのつもりで理事を務めさせて頂いて7年、力不足ではありましたが皆様に支えて頂いたこと心より感謝申しあげます。

今後とも協会発展に貢献できますよう努力して参りますのでよろしくお願ひ致します。



永年
7年

ビルクリーニング部会
脇阪 康弘
株式会社テクノパーク

受賞者コメント

このたびの受賞にあたりまして、各理事・委員・並びに会員の皆様のご支援により、7年間つとめさせて頂けたことに感謝申し上げます。

これからも協会発展の為、微力ではございますが精進して参ります。今後共よろしくお願ひ致します。

永年職員

(敬称略)



永年
15年

植田 恵
大阪ビルメンテナンス協会 事務局

受賞者コメント

この度は永年職員 15 年を表彰していただき、誠にありがとうございます。

周りの方々より多くのことを教わり、支えていただき、15 年間仕事を続けることができました。

今後も初心を忘れずに、体力の続く限り頑張りますのでご指導ご鞭撻のほどよろしくお願ひいたします。



OBM委員会・部会活動報告 総務友好委員会

総務友好委員会活動報告

委員長 岡田 寿代

2022年度優良社員表彰式が7月7日（木）、ホテルビナリオ梅田にて開催されました。コロナ禍である為、ホテル側と新型コロナウイルス感染症対策の打合せを重点的に行い、開催に向けて準備を進めてまいりました。当日は会員企業13社から推薦された35名の方々が表彰されました。今回、受賞された皆様は、新型コロナウイルス感染症の影響が長期化している中でも、業務への情熱が変わることなく日々邁進されていると、会員企業様からの推薦理由を拝見し、心を打たれまし

た。その場に立ち会えました事を大変光栄に感じております。また協会に貢献して頂きました会員企業、会員企業から派遣された委員・役員の方々の表彰も同時に行われました。多くの会員企業様にご出席いただき、とても感動的な式典となりました。表彰式の後は、新型コロナウイルス感染症対策を取りながら、2019年以来となる懇談パーティーを開催し、bingo大会も盛り上り、ご出席の皆様方との親交が温められたと思っております。



表彰式の後は、新型コロナウイルス感染症対策を取りながら、2019年以来となる懇談パーティーを開催

OBM委員会・部会活動報告

総務友好委員会



35名の方が表彰されました会



懇談パーティーは岡田委員長の手締めで閉幕

本年度も OBM ソフトボール大会は中止といたしました。参加チームの募集を開始した 5 月は減少傾向にあった新型コロナウイルス感染症ですが、7 月・8 月になると第 7 波に入り感染が急拡大しました。そのような状況で大会を開催されるのかといったお問い合わせや、出場辞退のご連絡もあり、安心・安全な大会運営は困難であると

判断いたしました。3 年連続の中止は当委員会としても苦渋の決断となりました。大会開催を楽しみにされていた皆様には誠に申し訳ございませんが、2023 年の開催に向けて前向きに進んでいきたいと思っております。

続いて、秋の行事 OBM 会長杯ゴルフコンペを 10 月 6 日（木）北六甲カントリー倶楽部にて開催します。8 月中旬頃に、会員企業様へご案内をお送りする予定しております。

また、秋の行事には OBM 日帰り懇親旅行もありますが、新型コロナウイルス感染症の状況もありますので、開催についてしばらく検討してまいりたいと考えております。楽しみにされている皆様、暫くお時間をいただけましたらと思います。

新型コロナウイルス感染症の影響で行事の中止・開催時間の短縮等、会員企業の皆様にはご迷惑をおかけしております。新型コロナウイルス感染症が落ち着きましたら、総務友好委員会メンバー一同、行事で皆様と盛り上がりていきたいと考えておりますので、奮ってのご参加お待ちしております。また、行事に参加するだけでなく、会員企業の皆様に楽しんでいただく行事の企画・運営等の活動を一緒に行う総務友好委員も募集中です。

OBM委員会・部会活動報告 労務委員会

2022年度労働安全大会開催

委員長 長井 亨樹



労働安全大会開会の挨拶

佐々木会長（代読 下村副会長）

本日は、2022年度一般社団法人大阪ビルメンテナンス協会労働安全大会にご参加いただきましてありがとうございます。平素は大阪ビルメンテナンス協会の事業活動にご理解・ご協力を賜りまして誠にありがとうございます。

新型コロナウイルスの感染が始まって、約3年が過ぎ、未だ収束が見えない状況ですが、ここ1ヶ月、感染者数が徐々に、減少して来ています。しかしながら、まだまだ油断できませんので、感染対策を遵守することをお願いいたします。

大阪協会は5月25日、2022年度通常総会を開催し、今年の事業計画は、新型コロナウイルス感染拡大前と同様の活動を行う事を決議いたしました。

本日、このように多くの方々に、ご参集いただきましたこと、感謝申し上げます。本日の大会の次第は「ご挨拶」に大阪労働局・安全課長 小野様、

ご講演に大阪労働局 地方産業安全専門官 高野様、そして、安全衛生標語・川柳の表彰式、最後に特別講演（潜在脳力を高めて目指せゼロ災害）川谷様のご講演があります。最後までお聞きいただきますように御願い申し上げます。

最後に「令和4年度・全国安全週間」が7月1日から7日までの1週間、実施されます。スローガンは「安全は急がず 焦らず 慎らす」であります。労働災害防止の為に、時間と人員に余裕を持った業務体制の構築が重要です。そして、もう1つ「全国ビルメンテナンス協会」は「労災防止・健康増進」をテーマにビルメンWEBにおいて、本日、6月10日より動画配信をいたします。「健康に関するお悩みから労災防止活動のご相談」を受け賜っておりますので、宜しくお願ひ申し上げます。本日ご参集の皆様の「ご安全」を祈念いたしまして、開会の挨拶とさせていただきます。

ご挨拶

大阪労働局 労働基準部 安全課長

小野 祥二 様

「2025年に万国博覧会の開催が予定される等、今後大阪において経済活動が一層活発化することが見込まれます。経済活動がますます活性化するなか人手不足が加速化すると、限りある人員の中でのマンパワーのみに頼ることとなれば、労働災害発生のリスクが高まります。ビルメンテナンス業に人が集い、魅力的であるためには安全で安心して働く

OBM委員会・部会活動報告

労務委員会

ける職場環境の整備が重要であり、労働災害の防止はもちろん、長時間労働の抑制や週休二日制の

導入等の働き方改革に積極的に取り組んでいく必要があります」とのご祝辞をいただきました。

ご講演

「ビルメンテナンス業における災害発生状況等について」

大阪労働局 労働基準部 安全課 地方産業安全専門官 高野 清司 様

近年のサービス近代化の進展等により、いわゆる第三次産業に属する企業の増加、拡大に伴って、その従事労働者数が年々増加の傾向にあり、労働災害の発生もまた、漸増の傾向がみられます。ここ数年来、第三次産業の労働災害の発生は、全産業の労働災害の約三分の一を占める現状にあり、今後もさらに増加することが考えられ、まことに憂慮すべき状況にあります。

これらの傾向に鑑み、数年前より第三次産業の労働災害防止を重点施策の一つとして取り上げ、今回「ビルメンテナンス業」を対象として災害発生時について、スライドを交え、労働災害発生数の推移、死亡災害発生状況、ビルメンテナンス業の死亡災害事例、令和3年大阪府における労働



災害発生状況、年齢別の発生状況など核のテーマに沿ってご講演をいただきました。

最後に令和4年度「全国安全週間」に向けて、スローガン「安全は急がず焦らず怠らず」健康が確保され、安全で安心な職場の実現等についてのご説明をいただきました。

OBM委員会・部会活動報告

労務委員会

2022年度安全衛生標語・川柳入選作品表彰式

安全衛生標語・川柳 入選作品表彰式が行われました。2022年度 安全衛生標語・川柳 表彰作品をご参照ください。

特別講演

メンタルプロデューサー
株式会社 脳レボ 代表取締役
一般社団法人 アスリートサポート
理事 川谷 潤太 様

テーマ

潜在脳力を高めて 目指せゼロ災害 「見えてるつもり」に潜む危険

- ・ヒューマンエラーを減らしたい
- ・一人ひとりの安全意識レベルを上げたい
- ・協力会との組織力を高めたい
- ・コミュニケーションを深めたい
- ・受講者の満足度を上げたい
- ・ゴルフのスコアアップのコツも知りたい

1. 内容

脳の活性化「コーディネーション・エクササイズ」

2.「なぜミスが起きるのか」潜在脳力的「原因編」
脳はイメージを優先するため、錯覚を起こし、気づかない

3.「なぜミスは起きるのか」潜在脳力的「対策編」
先手必勝～徹底的な準備・いわれる前に動く・
相手より先に～

- ①集中力を高める習慣
- ②外交的に「対象に向かって」集中
- ③チームワークを高めよう

以上の内容にて特別講演をいただきました。



2022年度安全衛生標語・川柳入選作受賞者

閉会の挨拶

閉会挨拶 理事 池井 利充 様

2022年度労働安全大会にコロナ禍にもかかわらずこれだけ大勢のご参加を頂き誠に有難うございます。また、大阪労働局安全課長小野様よりの挨拶、高野専門官のご講演、メンタルプロデューサー 川谷様に特別講演を頂き本当に有難うございました。「労働災害の減少」というテーマの実現ため、労務委員会としては、今年も9月にこのドーンセンターで労働衛生大会を開催いたしますのでご参加ください。

OBM委員会・部会活動報告

労務委員会



2022年度 安全衛生標語・川柳 表彰作品

第1部門（業務災害防止に関するもの） 応募数 1,116点

優 秀	視点を変えれば見えてくる みんなで摘み取れ 危険の芽	朝日建物管理株式会社	新留 典明
佳 作	したつもり つもり積もりが ミスの元	テルウェル西日本株式会社	西村 亮佑
佳 作	はずすなよ 頭の中の ヘルメット	株式会社 JR 西日本メンテック	上谷 卓

第2部門（通勤災害防止に関するもの） 応募数 836点

優 秀	同じ道 朝日と月夜で 別の顔	テルウェル西日本株式会社	松若 裕介
佳 作	歩きスマホで事故多発 しっかり確認右・左	テルウェル西日本株式会社	中岡 かよ
佳 作	急ぐとも 余裕をもった 心がけ みんなの笑顔が 待っている	株式会社セイビ大阪	田代 洋治

第3部門（職場での健康保持増進に関するもの） 応募数 765点

優 秀	階段は どこにでもある 無料ジム	株式会社 JR 西日本メンテック	里村 亜希
佳 作	まだ知らぬ マスクの下の 社員のかお	テルウェル西日本株式会社	岩谷 星美
佳 作	オンとオフ 切り替え上手で リフレッシュ	テルウェル西日本株式会社	吉井 誠

応募総数3部門合計 2,717点

2021年度 無災害企業安全表彰

3年間無災害樹立	大揚興業株式会社
1年間無災害樹立	トーシンファシリティーズ株式会社

OBM委員会・部会活動報告 環境衛生委員会

環境衛生委員会の活動報告

委員長 黒田 泰壽

「環境衛生ニュース」

「新型コロナウイルス感染症」全国のワクチン接種も4回目が進行中、インバウンド(訪日外国人)の受け入れを再開した。7月に入りオミクロン株の新系統「BA・5」の急拡大で第7波の感染者が急増している。事前の感染症対策により、円安効果のある間に発生以前の景気を取り戻したい。今冬を無事に乗り切れば一安心かと思われる。

WHO緊急会合で「サル痘」が1-6月で54か国6000人以上の感染が報告された。テドロス事務局長が「人から人への感染は進んでいるのに過小評価されている」と懸念を表明し、公衆衛生上の緊急事態に当たるかどうかを検討。我が国にとっても新たな問題発生であり、環境衛生上、感染しないよう今後とも要注意である。頭痛の症状、37度以上の熱、喉の痛み、皮膚の観察、人獣共通感染症なので動物との接触には特に注意が必要。

委員会新メンバー (令和4年6月から令和5年5月)

担当副会長	澤村 剛士	(株)榮光社
委員長	黒田 泰壽	環境衛生薬品(株)
副委員長	藤井 修	(株)オリエントサービス
委員	内海 幸一郎 大原 宗治 佐々木 賢一 小島 昌彦 辻田 幸一 長沼 聰 前田 晃宏 脇谷 壮太朗 湊 和夫 岸本 隆司 植田 照章	(株)JR西日本メンテック シェル商事(株) (株)オリエントサービス イカリ消毒(株) 環境衛生薬品(株) 星光ビル管理(株) 日本水処理工業(株) (一社)関西環境開発センター 専門委員 専門委員

14名でのスタート。専門的な知識、技術情報提供していただける方、行政の方々と共に協力して業務改善にご協力頂ける方のご参加をお願い致します。

OBM委員会・部会活動報告 環境衛生委員会

活動報告

大阪府
受託事業

2021年度 建築物飲料水 水質検査業 外部精度管理 結果報告会

日時:2022年3月8日 午後2時 WEB開催

検査精度の向上と信頼性及び安全性の一層の確保のため実施、
現場でのフォローアップを通して参加者の教育訓練ともなっている。

(1)項目

無機化合物：シアン化物イオン及び塩化シアン
有機化合物：クロロホルム

(2)外部精度管理の流れ

配布試料調製 令和3年9月27日
試料配付(郵送・チルド) 令和3年9月28日
検査結果報告書回収 ... 令和3年10月29日
結果(暫定版)報告 令和3年12月27日
結果(最終版)報告 令和4年3月1日
フォローアップ 令和4年1月～3月
結果報告会 令和4年3月8日
(オンライン開催)

(3)参加機関 16機関

(一財)関西環境管理技術センター
(株)総合水研究所 環境分析センター
古川熱学エンジニアリング(株)
(株)東邦微生物病研究所
(株)ケイ・エス分析センター
日本環境分析センター(株)
(株)エヌ・イーサポート 大阪支店
エスク(株)
日本水処理工業(株)
日本検査(株) 理化学試験センター
星光ビル管理(株)
(株)KANSOテクノス 計測分析所
(株)関西環境センター
(株)田岡化学分析センター
(株)日環サービス
(株)日綜技研

大阪府
受託事業

2022年度 建築物飲料水 水質検査業 外部精度管理 の実施について

(1)項目

無機化合物：銅およびその化合物
有機化合物：ブロモホルム

(3)実施機関

(一社)大阪ビルメンテナンス協会
(地独)大阪健康安全基盤研究所

(2)実施日

試料配付について： 参加事業者あてに郵送
(発送日は令和4年9月28日(水)を予定)
結果報告期限(予定)： 令和4年10月28日(金)

(4)対象

建築物飲料水水質検査業の大坂府知事登録
を受けている事業者

OBM委員会・部会活動報告 環境衛生委員会

(5)外部精度管理実施説明会

日時 令和4年9月12日(月)

午後2時から午後3時予定

感染拡大防止に伴い対面および Microsoft Teams によるハイブリッド形式での開催を予定。

外部精度管理を受けた場合は、大阪府ホームページで「建築物衛生管理登録名簿」の事業所名称の欄に、この外部精度管理に参加した旨の記載がされます。

令和3年下期・4年上期 環境衛生委員会開催状況

第6回 令和4年 2月 7日 委員会中止
(コロナ蔓延)

第7回 令和4年 3月 28日 委員会開催

第8回 令和4年 4月 13日 委員会中止
(コロナ動向を鑑み)

第9回 令和4年 5月 16日 委員会開催

第1回 令和4年 6月 28日 委員会開催

第2回 令和4年 7月 20日 委員会開催

施設見学会の実施

令和4年6月28日(火)

施設名：なら歴史芸術文化村
(令和4年3月21日 開村)

場 所：奈良県天理市杣之内町437-3

参加者：7名

奈良の、特色のある歴史文化資源に触れ、
質の高い文化芸術活動を体験できる施設です。



OBM委員会・部会活動報告 環境衛生委員会

特集

建築物石綿含有建材調査について ——工事前の事前調査——

環境衛生薬品株式会社

増井 理沙

一般建築物石綿含有建材調査者
第一種作業環境測定士

アスベスト法改正

こみゅにけ～しょんず VOL96・
VOL97でアスベスト法改正が令和
4年4月1日より施行されますことを
事前予告してまいりましたが、現場
での実施にあたり多少混乱もみられ
るようですので、再度手順をご案内
致します。

■ 石綿とは

- 自然界に存在するけい酸塩鉱物の中でも纖維状の物質の一部の総称
- 6種類の鉱物の総称：アスベスト
- 労働安全衛生法 → 石綿障害予防規則
「石綿若しくは石綿をその重量の0.1%を超えて含有する製剤その他もの」
- 断熱性、耐酸、耐アルカリ性に優れており、しかも安価であるため、「奇跡の鉱物」と呼ばれていた。
- 石綿の用途はおよそ3,000種類、そのうち約9割は建材である。



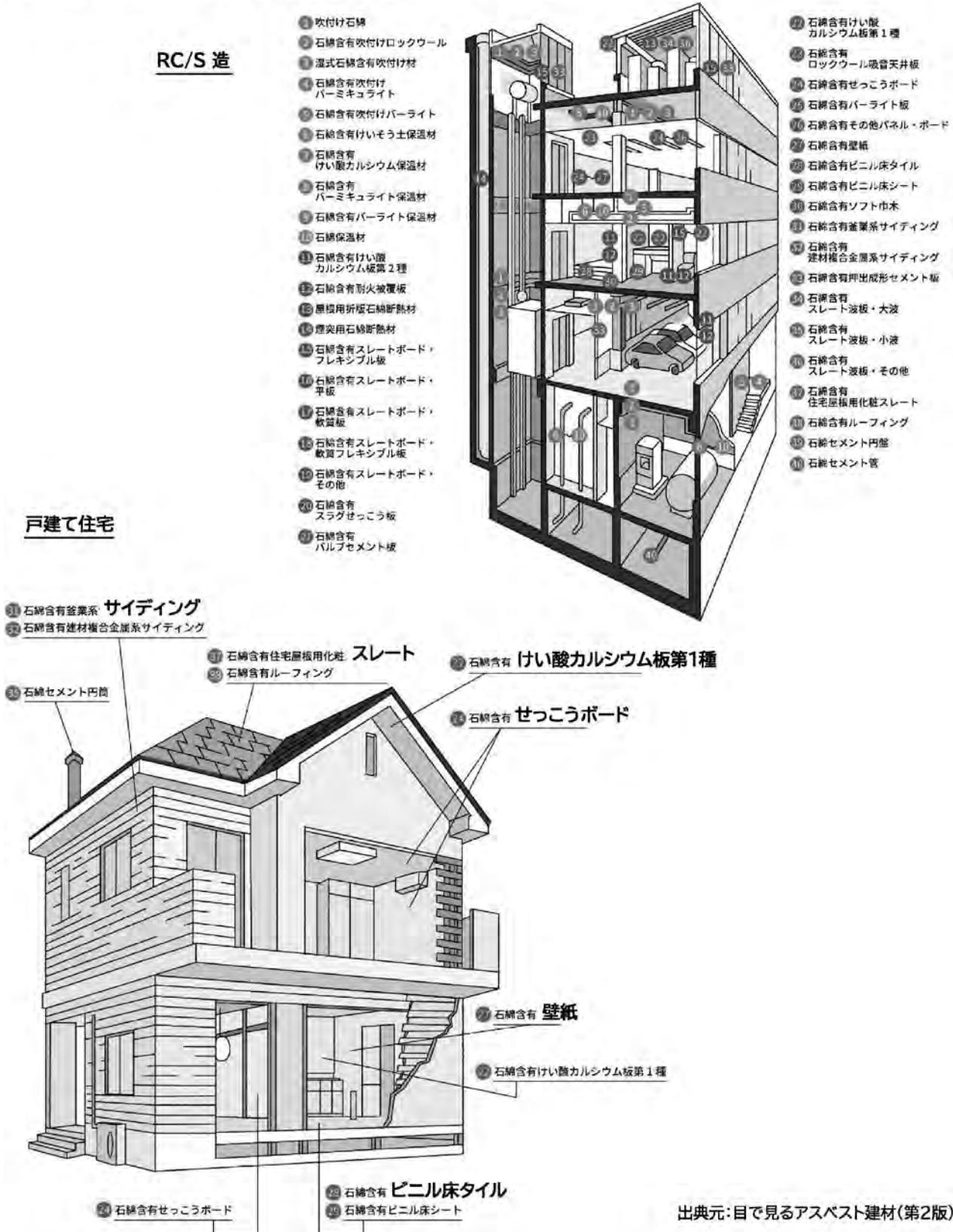
出典：環境再生保全機構

分類	石綿名	備考
蛇紋石族石綿	クリソタイル (白石綿)	世界で使用された石綿の9割以上を占める。
角閃石族石綿	アモサイト (茶石綿) クロシドライト (青石綿)	1995(平成7)年にはこれら2種類は輸入と使用が禁止されている。
	アンソフィライト (直閃石綿) トレモライト (透閃石綿) アクチノライト (陽起石綿)	従来、使用されていないとされていたが、実際の分析結果から国内での使用が確認されている。

出典元：建築物石綿含有建材調査者テキスト

OBM委員会・部会活動報告 環境衛生委員会

■ アスベスト含有建材の使用部位例



OBM委員会・部会活動報告 環境衛生委員会

■ 石綿規制の変遷

- 1972 特定化学物質等障害予防規則 制定
労働安全衛生法 制定
- 1975 5重量%を超える石綿の吹付け禁止
- 1988 石綿の管理濃度(2本/cm³)を規定
- 1989 敷地境界基準(10本/L)を規定
大気汚染防止法 制定
- 1995 1重量%を超える石綿の吹付けを禁止
- 2004 石綿の管理濃度(0.15本/cm³)を改正
石綿1重量%を超える建材、摩擦材、接着剤の禁止
- 2005 石綿障害予防規則制定
- 2006 石綿0.1重量%超の製品の禁止(一部猶予措置あり)
- 2011 石綿則が鋼製船舶の解体にも適用
- 2012 石綿0.1重量%超の製品の禁止の猶予措置を撤廃
- 2013 工事前の事前調査及び説明の義務化
届出義務者を発注者に変更
- 2021 事前調査方法の変更、記録の作成及び保存の義務化
レベル3建材も規制対象に追加
建築物等の解体等工事時における石綿飛散防止の規制強化

今まで
調査は行われていたが、

書面の作成 不要
記録の保存も 不要

2022 事前調査結果の報告制度開始

2023 有資格者による事前調査実施の義務化



OBM委員会・部会活動報告

環境衛生委員会

■ 今回の改正について

R5.10～
有資格者による調査が義務化

R4.4～
電子報告が義務化

工事の種類と規模		事前調査 記録保存	調査結果を 施主へ説明 説明内容保存		届出・報告		調査結果掲示 現場備え付け
			建設 リサイクル法	調査結果	元請	元請	
建築物の解体工事	延床面積80m ² 以上	●	●	●	◎	●	
	〃 未満	●	●	-	-	●	
建築物の改修工事	請負金額 1億円 以上	●	●	●	◎	●	
	〃 100万円 以上	●	●	-	◎	●	
特定工作物の 解体・改修工事	〃 100万円 未満	●	●	-	-	●	
	事前調査対象外の工事	-	-	-	-	-	

特定工作物とは：

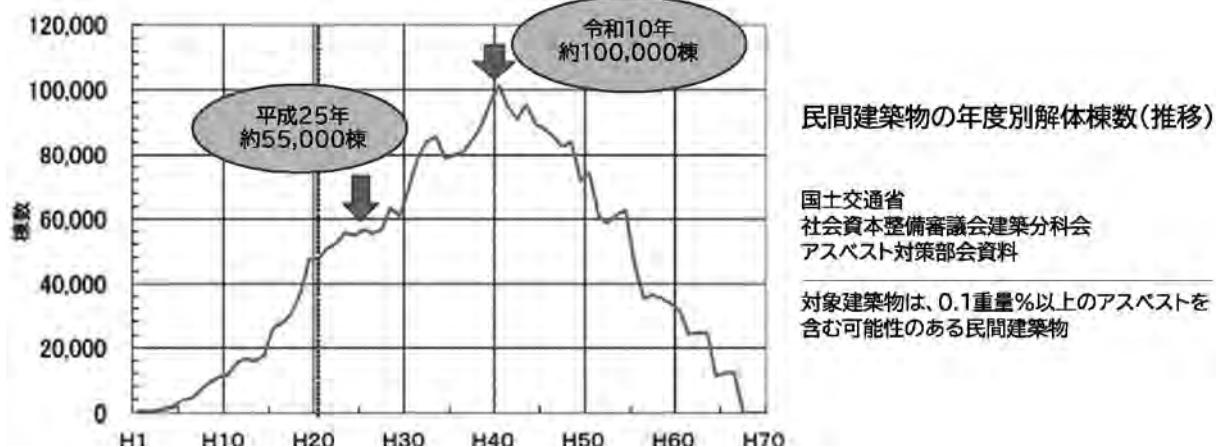
◎:今回の改正で追加

反応槽、加熱炉、ボイラー、圧力容器、煙突、配管設備、遮音壁、焼却設備、貯蔵設備、発電設備、変電設備、配電設備、送電設備、トンネルの天井板、軽量盛土保護パネル、プラットホームの上駅、鉄道の駅の地下式構造部分の壁・天井板

■ 今後さらに事前調査の需要が高まる



《厚生労働省》
改正石綿則の周知・広報事業ポータルサイト
<https://www.ishiwata.mhlw.go.jp/>



OBM委員会・部会活動報告 環境衛生委員会

■ 分析方法:定性分析

① JIS A1481-1 実体顕微鏡と偏光顕微鏡による定性

層別分析が可能 ISO22262 1:2012 の翻訳版

試料調製①：灰化、酸処理、浮遊沈降

事前の検査：実体顕微鏡により繊維を選別する



試料調製②：選別した繊維を適切な浸液で封入し、標本を作製する

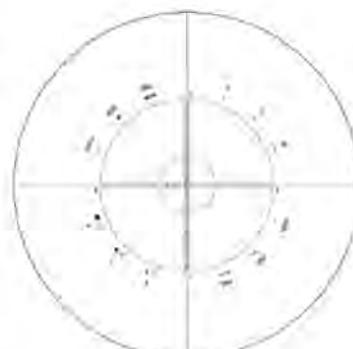
石綿の同定：偏光顕微鏡により6種類の光学的特性を確認し、繊維を同定する

② JIS A1481-2 X線回折及び位相差分散顕微鏡による定性

試料前処理：灰化後に粉碎してふるいにかける

試料調製①：ビーカーで超音波処理後、メンブレンフィルターに吸引ろ過

事前の検査：X線回折装置で測定



アイピースグレーティクル

試料調製②：分散液を20 μL 乾燥させて適切な浸液で封入し、標本を作製する

石綿の同定：40倍で観察し、アイピースグレーティクル内を計数する

■ 分析方法:定量分析

① JIS A1481-3 X線回折による定量

事前検査：試料調製に使用するフィルターブランク(質量、強度)を測定する

試料調製：JIS A1481-2 で前処理した試料をビーカーで超音波処理後、フィルターに吸引ろ過

石綿同定：試料の強度を測定し、検量線から質量を求め、含有率を計算する

② JIS A1481-4 偏光顕微鏡及び電子顕微鏡による定量

ISO22262-2:2014 の翻訳版

試料調製①：灰化、酸処理、浮遊沈降した試料の懸濁液をフィルターに吸引ろ過

試料調製②：マトリックス質量低減法で残さを得る



石綿の同定：マトリックス質量低減後の最終残さを偏光顕微鏡、

走査電子顕微鏡又は透過電子顕微鏡により目視で計数する。

OBM委員會・部会活動報告

環境衛生委員会

■ どんな報告書？

調查結果概要

- 1 調査件名 : *****改修工事のための事前調査

2 調査期間 : ****年**月**日

3 調査者 : 環境衛生薬品株式会社****

TEL : 0774-98-2130 FAX : 0774-95-3881

建築物石総合含有建材調査者(証明書番号)第*****号

4 調査対象物件概要

建物名称 : *****

竣工年 : ****年

所在地 : *** *****

分類 : 建築物

用途 : 運輸関連施設

5 調査対象材料 : 吹付材・保温剤・断熱材・耐火被覆材・成形材等・仕上塗材

6 調査方法 : 書面調査
目視調査
分析調査

7 その他、特記事項 : 今回の調査範囲は北および南改札口の改修予定の
コンコース7F共のみとした。

報告書を基に 元請業者が電子報告

工事開始



OBM委員会・部会活動報告 環境衛生委員会

■ 事前調査の具体的な流れ

STEP.1 建物の面図を入手

調査範囲や調査時間を見積もるために必要

事前調査のための情報を入手する段階なので、下見になります。

STEP.2 見積書作成

調査費用と分析費用は分けて見積りする必要あり

見積内容は「調査費用のみ」となります。

設計図書で全て明らかな物件以外は実際に現場で見て判別するため、事前に分析費用を見積りすることは難しいと思われます。

試料採取なし

試料採取・分析あり

STEP.3

① 設計図書を入手(書面調査)

改修している場合は現地調査が必要

2006年(平成18年)9月以降に着工した建築物については、設計図書による書面調査のみとなります。

② 現地調査(目視調査)

改修部分やカーペット下のタイルや塗装の下地調整剤も全て調査

全ての建材、天井、壁、床等を調査します。同じ間取りの部屋でも全て調査します。

STEP.3

設計図書(書面調査) /現地調査(目視調査)/試料採取

改修部分も全て調査

全ての部屋の天井、壁、床を目視調査します。カーペット下のタイルや塗装の下地調整剤も調査する必要があります。石綿含有が「不明」の場合は別途分析することになります。

STEP.4

報告目安:1週間

採取試料の分析

JIS A1481-1 で対応

報告目安:1週間

報告書作成

(書面調査～目視調査まで)

分析費用は別途見積りを作成

試料採取/分析は別途

STEP.5

報告目安:2～3週間

報告書作成

(書面調査～分析結果まで)

OBM委員会・部会活動報告 大阪・関西万博推進委員会

大阪・関西万博推進委員会の 再編成及び活動報告

委員長 北川 卓

大阪・関西万博推進委員会は 2025 年大阪・関西万博の会場メンテナンスを OBM が担うため発足（発足当時は特別委員会）し、3 年が経過致しました。

コロナ禍で活動すること自体難しい中、更に大阪・関西万博の前博であるドバイ万博の開催が 1 年延期となり（本来 2020 年 10 月開催が 2021 年 10 月 1 日～2022 年 3 月 31 日に）参加国の誘致活動が遅れ全体骨格も決まらないまま手探りの活動を続けて参りました。

そんな中、大阪府・市や万博協会様へとアプローチを重ね、本年 3 月に第一弾の提案書を提出致しました。

未確定な要素が多いため、内容は SDGs の考え方を取り入れた持続可能な未来に向けた提案型のものとなっています。

まだまだ維持管理に関しての入札や受注がいつになるのか未定ではありますが日々地道な活動を行っています。

更に 7 月以降は体制作りとして推進委員会の組織を再編成させ、大阪協会役員を中心に本格的に受注及び対応可能な組織、体制作りを行って参ります。

過去の大坂万博や花博の時のように特命による受注は現在の社会情勢やコンプライアンス的にも

困難であると考えますが、過去の実績、国や地方自治体に対する取り組み等を考えても必ず受注できるものと考えています。

世界情勢が様々な問題で混沌とする中 2025 年の大阪・関西万博は大きな意味を持った開催となります。

テーマである“いのち輝く未来社会のデザイン”、まさしくいのちをテーマに掲げられており世界が一つの場に集う機会となります。

大阪・関西万博を成功させる一翼を担えるため、また大阪協会に新しい歴史を刻めるよう活動を行ってまいります。

2025 年なんて先のことのように思われますが開幕まで 1,000 日足らずとなりました。

受注までにはやるべき事、やらなければならぬ事は山ほどあります。ましては受注が決定しているわけでもなく、不透明で困難な活動が続きます。

どうか協会の皆様におかれましてはご支援ご協力よろしくお願い致します。

最後に 2025 年の大阪・関西万博に関しての情報は今後もマンスリー、こみゅにけ～しょんず、協会のホームページ等でご報告致しますのでご期待頂ければと思っています。

OBM委員会・部会活動報告 大阪・関西万博推進委員会

開催概要

大阪・関西万博は、「いのち」をテーマに掲げる万博として、世界が一つの「場」に集う機会となります。本万博を契機として世界の多様な価値観が交流しあい、新たなつながりや創造を促進し、世界的な危機を乗り越え、一人一人のいのちを守り、いのちの在り方、生き方を見つめ直すことで、未来への希望を世界に示す万博となることを目指します。

テーマ

いのち輝く未来社会のデザイン

サブテーマ

- (1) Saving Lives (いのちを救う)
- (2) Empowering Lives (いのちに力を与える)
- (3) Connecting Lives (いのちをつなぐ)

コンセプト

People's Living Lab (未来社会の実験場)

開催期間

2025年4月13日（日曜日）～10月13日（月曜日）

開催場所

夢洲（ゆめしま）（大阪市臨海部）

大阪・関西万博 推進委員会

2022.7.20

統括会議

委員長：北川 卓（副会長）

副委員長：栄 孝清（理事）

総合アドバイザー：佐藤 良延

相談役：佐々木 洋信（会長）

事務局（南）

事務局

澤村剛士（副会長）

下村康信（副会長）

加藤浩輔（副会長）

総務 G

企画 G
(積算・見積)

運営 G

消防体験教室の開催

部会長 梶山 孝清

警備防災部会では、毎年10月初旬に大阪市消防局高度専門教育訓練センター（旧大阪市消防学校）において、大阪市消防局のご指導のもと、例年20～30名の参加を得て、ここ10年あまり消防体験教室を開催しています。

消防体験教室の概要

防火・防災の知識・技術を身につけるためには、実践する事、体験する事が最も効果的です。

実際の炎を消火器で消火する訓練や発火した天ぷら油へ誤って水をかけるとどうなるのか、などの実験や、実際に火をつけて煙を発生させた部屋からの避難訓練など、高度で実践的な訓練を盛り

込んだ、普通では体験できない防火・防災の研修です。

○ 応急手当講習会

午前中は、心肺蘇生法やAEDの使用方法など応急手当についてみっちりと学びます。受講者には普通救命講習の修了証が交付されます。



(心肺蘇生法やAEDの使用方法の講習会)

OBM委員会・部会活動報告

警備防災部会

○ 消火訓練

自衛消防訓練において、水消火器を使用しての訓練を体験された方は多いと思いますが、実際に油を燃焼させて粉末消火器で消火する機会は稀です。炎の熱さ、煙の勢い、粉末消火薬剤の威力など、実際に体験してこそ多くのことを知り得ます。



(粉末消火器による消火訓練)

屋内消火栓についても、通常はホースを延長するだけの訓練になると思いますが、実際に放水して放水圧力や操作のタイミングなど、これも是非実際に体験して頂きたいところです。



(屋内消火栓の放水訓練)

天ぷら油に火が入った際の消火要領も学びます。落ち着いて確実に消火する方法を体験します。
誤って水をかけるとどうなるのか？

驚きの結果をしっかりと目の前でご確認ください！



(天ぷら油火災を濡れ布巾で消火)



(天ぷら油火災に水をかけると・・)

OBM委員会・部会活動報告

警備防災部会

○ 煙中体験

煙の性状体験です。火災室で実際に木材を燃やし、発生した煙を天井に滞留させます。

時間とともに天井に滞留した煙の層は厚みを増し、徐々に降下してくる様子が確認できます。

この体験により、「煙中を避難する時は姿勢を低くする」と言われる理由がはっきりと理解できます。



(煙の層が徐々に降下)

○ 地震に関する知識 (起震車体験や地震・津波クイズ)

今後30年以内に70%以上の確率で起こると言われている南海トラフ地震などの発生に備えるため、地震に関する知識を深めることも重要です。

まずは起震車体験。震度7までの地震体験がで

きる起震車にて、揺れの凄まじさを実感できます。

そして、座学にてクイズ形式で地震・津波の知識を深めていただきます。



(起震車で震度7を体験)



(クイズ形式で地震・津波の知識を深める)

○ 豪雨体験

近年、日本列島を頻繁に襲う集中豪雨に備えるため、ゲリラ豪雨を体験して、集中豪雨の危険性を認識します。



(ゲリラ豪雨体験・恐怖を感じる!)



(会話ができないほどの圧迫感)

OBM委員会・部会活動報告

警備防災部会

○火災原因実験

家庭や職場で発生する火災などを実験により再現し、火災原因調査のデータを活用した出火防止対策を学びます。



(カセットボンベに残ったガスに引火)



(ドライヤーの配線から出火)

最後に【消防体験教室】は今年度も10月6日(木)に開催を予定しています。部会員事業所から、積極的な参加を頂きたいと考えております。

なお、大阪市消防局の担当者と今年度の打合せをする中で、「日本から戦時中のウクライナへの物資支援（消防用資機材等）」のお話を聞きましたので、ご参考までに情報提供いたします。

本年4月、ウクライナ内務大臣から総務大臣に書簡にて物資支援の要請があり、これを受けた要請のあった物資のうち、現地で使用可能な消防・救助関連資機材、通信機器25品目・約30tを国内消防本部（東京消防庁及び大阪市消防局をはじめ20政令指定都市）、民間団体・企業からの協力を得て確保し、5月中旬に空輸され、ポーランドにあるウクライナ支援物資の集積地にて引き渡されたとのことです。

お話を聞いて、当然ではあります
が、平時であれ、戦時であれ、火災・
戦火などから、国民の生命、身体及

び財産を守ることは、世界共通の最優先事項であることを改めて実感いたしました。

我々も日々の業務を通じて、顧客の皆様に安全・安心を十分に提供できるよう、今後とも防火・防災意識を一層高めてまいりたいと考えています。



【大阪市消防局から提供される消防用資機材と集積場所（東京）までの搬送車両（津波・大規模災害対策車）】—大阪市消防局HPより—

OBM委員会・部会活動報告

警備防災部会

ウクライナへの支援物資の一例

大阪市消防局 HP より

消防用防災衣（上下）



防火用長靴



先芯入り作業用長靴。

防火帽



主に火災現場で使用するヘルメット。

ストレッチャー



傷病者を搬送する時に使用。頭側や足側を挙上することができるため、症状に応じた体勢をとることができ。台車部分と担架部分を分離させて使用することもできる。

油圧ジャッキ（一式）



エンジンポンプまたはハンドポンプで加圧したオイルにより、機器を作動させる。「押し広げ」「切断」「押し上げ」「引張り」などの作業ができる。

発電機



ガソリンによりエンジンを作動させて電気を発生させる。

個人線量計



ポケット等に収容ができる大きさで、放射線を感知する。アラームレベルを超えると、音、光及び振動により警報を発する。

サブストレッチャー



傷病者を搬送する時に使用。椅子型のほか伸ばして使用することもでき、収容時は折り畳むこともできる。

医療グローブ



薄型ゴム手袋で血液等が直接手に触れるのを防ぐ。

OBM委員会・部会活動報告

設備保全部会

設備保全部会ニュース

部会長 米澤 勉

設備保全部会は顧客に信頼されるビルメンテナンスを目指し、技術的に保証されたサービスの提供を行える専門技術集団として、高度技術力の習得と自発的品質管理の推進に寄与することを通じて、加入会員の満足度の向上を図るために情報発信を行い、ビルメンテナンス業の活性化を図ることを基本方針として継続的な活動を行っています。

主な活動内容は以下の3つの事業を柱とし、3つの小委員会にて各事業の活動を推進しています。

<事業内容>

①調査研究に関する事業

事業趣旨は、業界に関係のある話題または業界の抱える課題について調査研究を行い、部会員に参考となるレポートを随時発行しています。

②教育及び訓練に関する事業

事業趣旨は、会員企業における技術者の継続的能力開発や再教育及び活動の支援を目的として、研修訓練の機会と場を提供しています。

③公益に関する関係団体との連絡調整・協力による事業

事業趣旨として厚生労働省、国土交通省、経済産業省、大阪府警本部、大阪市消防局をはじめとする各種団体の行う事業及び調査に対して連携協力することにより、会員の業務が円滑に遂行できるようにし、業界の信頼性向上に努めています。

<小委員会>

①管理技術調査研究

- ・業界関連技術レポートの冊子発行
- ・大阪ビルディング協会との合同研究

②研修・見学会

- ・新施設・設備の見学
- ・新技術研究・講習会
- ・新製品等の紹介研修
- ・警備防災部会との合同研修・見学会への取組

③設備保全業務研究

- ・設備保全に関する研究と設備保全諸問題研究と技術レポートの冊子発行
- ・情報交換会テーマへの取組

昨今のビルメンテナンス業務は、建物の省力化、多様化等のニーズにより、建築技術やIT技術の革新がすすみ、設備の高度化がより一層進んでいます。その様な状況のなか、安心・安全・快適性・省エネが求められています。また2020年1月から続くコロナ禍の影響や、今後発生すると言われている

OBM委員会・部会活動報告

設備保全部会

大規模地震に対応していくために、ビルメンテナンスだけでなくリスクマネジメント能力が必要になっていきます。専門知識・技能・情報収集能力・データ分析力・判断力等を駆使し、設備の維持管理や保全だけでなく、非常時・緊急時に十分な対応ができる企業が必要になってきます。設備保全部会として従来の活動を継続し、増加する顧客のニーズに対応できる取組も行っていきたいと考えています。

2021年度及び2022年度の設備保全部会の活動報告

1. 調査研究に関する事業

(1) 管理技術調査研究

2021年3月に技術レポート46を発行「ビル管理業務におけるセンサの紹介と活用について」

建物に設置されているセンサとその原理、基礎技術、種類仕組み等についてまとめました。

技術レポート48の編集（2023年3月発行予定）

「空調・換気・衛生設備の運用や改善による感染リスク低減と快適環境維持について」
感染リスクを低減する効果として実用例を基にレポートをまとめています。

(2) 設備保全業務研究

2022年3月に技術レポート47を発行
「新型コロナ及び災害対応により得られた事例から学ぶ」
現場からのアンケートを基に事例を紹介して対応策をまとめています。

(3) 東京ビルメンテナンス協会との定期情報交換会

コロナ禍の影響で2020年から中止となっていましたが今年度は例年に比べ規模を縮小し10月に実施予定です。

2. 教育訓練に関する事業

(1) 電気事故と安全対策講習会

全国ビルメンテナンス協会近畿地区本部との共同開催にて、経済産業省の産業保安監督部近畿支部の支援を得て「近畿地区管内の電気事故事例」「自家用電気工作物の立入検査結果」等についてコロナ禍の影響で2020年より中止をしていましたが今年度は8月に実施しました。

(2) 研修・見学会の実施

コロナ禍の影響で中止をしていましたが今年度は9月にアイリスオーヤマ三田工場にてLED照明、AIカメラ、ロボティクス、空調システム等の最新技術と自動倉庫のピッキングシステムの見学を決定しています。

OBM委員会・部会活動報告

設備保全部会

(3) 設備教育用 DVD 貸出サービスの実施

2020 年より安全衛生教育の教材として DVD の貸出を開始しましたが 2022 年度も新作 DVD が 10 本追加いたしました。

「消防設備の操作要領」

「イザ！ というときに役立つ消防用設備等の取り扱い」

「火事だ！ その時あなたは大丈夫？」

「火災事例に学ぶ」

「消防用設備・施設の日常点検」

「消防用設備の取扱要領 DVD」

「いのちを守る病院火災の初期対応」

「酸欠を甘く見るな！」

「二次災害の防止と一次救命処置～酸欠災害から学ぶ～」

「【2019 年】改訂 DVD で早わかり労働安全衛生法」

事故・トラブル防止に向けご活用ください。

(4) (公社) 全国ビルメンテナンス協会への支援

(5) (一財) 建築物管理訓練センターへの人的支援

3. 公益に関する関係団体との連絡調整・協力による事業

(1) (一財) 大阪府消防防災協会

(2) 関西地区証明用電気計器対策委員会

近畿経済産業局を中心に関連諸団体が参画し、電気用計器の適正な運用を図るために活

動を行いました。2021 年度はコロナ禍の影響により書面開催、2022 年度は 6 月に開催をしました。

(3) 大阪府住宅まちづくり部建築指導室

特定建築物の定期報告について当協会との意見交換会に参画しました。

(4) (一社) 大阪ビルディング協会

大阪ビルディング協会主催の技術セミナーへ参加しました。

第 1 回 (2021 年 7 月)

第 1 部「ビルマネジメントにおけるデータ活用と今後の進化」

第 2 部「次世代型施設管理とスマートシティー構想」

第 2 回 (2021 年 11 月)

第 1 部「SDGs 今動かなければ～地球温暖化の影響：現状と未来～」

第 2 部「ザイマックスの SDGs」

今年度も参加予定です。

(5) フロン機器適正管理の推進のための情報交換

業務用冷凍空調機器の管理者によるフロン類の適正管理を推進するため関連諸団体が参画し、2021 年に開催を行った情報交換会の資料が会員の参考になると判断し主催団体と調整を行い OBM 会員向け HP に公開を行いました。

OBM委員会・部会活動報告 賛助会世話人会

ミニ展示会・講習会のご報告

代表 矢野目 博史

2022年7月14日（木）ミニ展示会・講習会

- 事前申込 21社 40名
- 当日参加 24社 44名
- 開会の挨拶 岡田理事



ミニ展示・講習会



OBMミニ展示会に用意された
賛助会各社の案内

□ 出展企業

1. イカリ消毒（株）

『光誘引捕虫器、各防虫関連商品』

2. (株)エイコー

『ITによるビルメンテナンス業への業務生産性貢献』

3. 装栄（株）

『廉価版普及タイプ《トイレ用 循環方式『紫外線&オゾン』空気清浄機》の展示ご案内』

4. 大一産業（株）

『オリジナルブランド FPS 商品のご案内』

5. ユシロ化学工業（株）

『感染防止対策洗剤・ビタミン系光触媒のご案内』

6. 横浜油脂工業（株）

『エアコンクリーニング便利な資器材』

OBM委員会・部会活動報告 賛助会世話人会



□ 講習会

第1部 13時15分～14時00分

ユシロ化学工業（株）

『安心できるビタミン系光触媒ジェンタミンのご紹介』

第2部 14時15分～15時00分

横浜油脂工業（株）

『壁掛けエアコンクリーニング【ドレンパンまで取り外す！】』

第3部 15時15分～16時00分

イカリ消毒（株）

『ネズミ・ゴキブリの生態と防除』

□ 閉会の挨拶 北川副会長

抽選会

2019年10月16日以来の抽選会でした。

ミニ展示会・講習会そのものの中止もありますが、2020年10月23日と2021年10月22日は、ミニ展示会・講習会は開催しましたが新型コロナウイルス感染症拡大防止の為に抽選会は中止しました。

□ 今後の開催予定

2022年10月14日(金)

2023年3月15日(水)

日時：2022年10月14日(金)・2023年3月15日

会場：大阪ビルメンテナンス協会（江戸堀フコク生命ビル）

臺灣人民抗暴運動（1947—1949）



OBMミニ展示会に用意された賛助会各社の案内

OBM賛助会コーナー

アクリルパネル専用速乾中性クリーナー

アクリルパネルの出現

アクリルパネルが様々な場所で置かれるようになっています。飲食店やオフィスなどの現場も様々です。

ここ数年でアクリルパネルが現れたため、清掃範囲が増えてしまい、日常清掃の負担が大きくなってしまっています。さらにアクリルパネルは透明なため、拭き跡が残ってしまうと目立ってしまいます。これらの点で悩まれている方が多くおられます。

現場での声

実際にオフィスビルの日常清掃を行う責任者の方や現場の方の数名にヒアリングを行いました。アクリルパネルについて、ほとんどの方が口を揃えて以下のことを話されていました。

「汚れがつきやすくクレームになりやすい」

「清掃をしても拭き跡が残ってしまう」

「アクリルパネルの清掃に時間を取られて負担になっている」

これらの悩みを解決するためには以下をクリアする必要があります。

1. クレームを防ぐため、拭き跡やムラが残さない
2. 時短化するため、乾きが早く2度拭きが必要ないもの
3. 毎日の清掃であるため、他の清掃箇所にも使用できる日常用の中性クリーナーが良い
4. 使用頻度が高いため、コストパフォーマンスが高い洗剤が良い

クイックワイプの特徴

弊社では速乾性中性洗剤『クイックワイプ』を取り扱っております。この洗剤は上記の4点を全てクリアしています。
少量のアルコール分を含んでいるため、噴霧後にクロスで拭き取ると水分が乾燥するため拭き跡が残りません。もちろん、2度拭きの必要もありません。さらには中性のため硬質面であれば使用する場所を選びません。ステンレスやガラス、鏡でも使用が可能です。

そして10倍希釈で使用できるため、ケミカルコストを抑えることも可能です。

実際に使用され「作業時間が短縮された」、「クレームがなくなった」という多くの声を頂いている製品です。日常清掃を改善されたい方は是非お使いください！



インテックスソリューション株式会社 西日本オフィス

HPアドレス <https://intexsolution.jp/>

連絡先 〒560-0021 豊中市本町5丁目8-49

TEL (0120) 756-568 FAX (0120) 401-056

KKC事業のご案内

(一社) 関西環境開発センター (KKC) は、ビルメンテナンス業務に関する研修会の実施、研修用教材の発行を通じて、従事者の皆様のレベルアップと企業の発展に貢献しています。

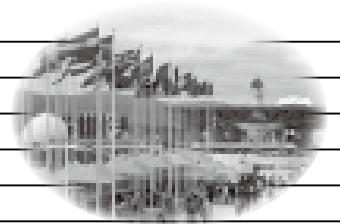
「こみゅにけ～しょんず」の発刊第 100 号おめでとうございます。また、1962 年の大坂ビルメンテナンス懇話会の発足から 60 年ということで歴史の重みを感じます。未来に向けてますますのご発展をお祈りいたします。KKC は、日本万国博覧会後の 1970 年に設立され、京阪神のビルメンテナンス企業様と共に歩んできました。今回は改めて KKC についてご紹介します。

【KKC の成り立ち】

1970 年に大阪で開催された日本万国博覧会が成功裏に閉会したのを契機に、会場メンテナンス作業に従事していた京阪神を中心とするビルメンテナンス企業が、その貴重な経験を活かすとともに、将来の環境開発の一翼を担うべく、技術の向上、機器の研究などに取り組むという趣旨で、同年 10 月に社団法人関西環境開発センターとして設立されました。

【沿革】

1970 年 10 月	大阪府知事の許可を受け、地方公益法人として発足
1970 年 12 月	「KKC ニュース」創刊
1970 年 12 月	日本万国博覧会跡地の維持管理業務を全国ビルメンテナンス協会より継承
1973 年 1 月	警備業法の施行に伴い「警備員教習科」を開設
1979 年 4 月	万国博自然文化園地区の有料化に伴う出改札業務を開始
1979 年 5 月	簡易専用水道の検査機関として厚生大臣の指定を受け検査業務を開始
1997 年 11 月	ホームページを開設
2004 年 3 月	簡易専用水道の検査機関の指定制度が登録制度に移行
2004 年 10 月	建築物衛生法に基づく従事者研修実施団体として、厚生労働大臣より登録許可を受ける
2011 年 4 月	公益法人制度改革により、社団法人から一般社団法人へ移行
2017 年 9 月	主務大臣（厚生労働省・法務省）から告示を受けた養成講習機関として外国人技能実習制度における養成講習を開始



【KKC の目的及び事業－定款より】

(目的)

第3条 この法人は、建築物ならびに多数人の集合する諸施設の維持管理に関する総合的研究と実習を行ない、もって良好な環境条件の維持とその技術開発に資することを目的とする。

(事業)

第4条 この法人は、前条の目的を達成するために、次の事業を行なう。

- (1) 建築物ならびに、諸施設の維持管理に関する技術の調査、研究のための事業
- (2) 建築物ならびに諸施設の環境開発に関する知識の普及、啓発のための事業
- (3) ビルメンテナンスに関する専門技術者及び管理者養成のための事業
- (4) 建築物ならびに諸施設の環境開発に関する刊行物発行のための事業
- (5) 建築物ならびに諸施設の維持管理に関する作業成果、品質評価、監査等の総合評価のための事業
- (6) 日本万国博記念公園その他公共的施設の維持管理とその運営に寄与するための事業
- (7) 公衆衛生の向上と生活環境の改善に寄与するために必要な事業
- (8) 水道法に基づく簡易専用水道の検査に関する事業
- (9) 警備業ならびに警備員の教育に関する事業
- (10) その他この法人の目的を達成するために必要な事業

【KKCの事業の展開】

◆ビルメンテナンスに関する専門技術者及び管理者養成のための事業として主に研修会の実施、教材の作成販売を行っています。今後は、社会状況をふまえ、感染症対策を考えた効果的な消毒方法などを含めた清掃研修や、清掃作業の標準化と清掃品質管理評価についての実施状況調査、品質インスペクションの精度を上げるための手法の研究を計画しています。

① 研修会の実施

建築物衛生法に基づく「従事者研修」／ビルクリーニング初級研修／
警備員現任教育／ポリッシャー基本実技講座／トイレ基礎講座／
清掃業務管理責任者レベルアップ研修／外国人技能実習制度に
おける養成講習／派遣元責任者講習 他



② 教材の作成販売

DVD「映像で学ぶ 石材・カーペットのメンテナンス」「ピカタンと学ぼう!新任現場責任者の心得」「ピカタンと学ぼう!ビル清掃の基本」他

書籍 「ビルクリーニング入門」「ホテルルームメンテナンスマニュアル」「ビルクリーニングマネージャー－清掃管理実務上のポイント」他



◆水道法に基づく簡易専用水道の検査を実施しています。ビル・マンション等に設置されている飲料水受水槽の有効容量が、10m³を超えるものを「簡易専用水道」といい、設置者等（オーナーやマンション管理組合）は、厚生労働大臣登録検査機関に依頼して毎年1回以上定期に検査を受けなければなりません。（水道法第34条の2第2項で定められた法定検査）

KKCは、厚生労働大臣登録検査機関として大阪府下全域に加え、2020年4月からは兵庫県の下記の地域で定期検査を実施しています。

今後も関係自治体への小規模受水槽水道調査の啓発活動や、受水槽水道の有用性について調査研究を行い、公衆衛生の向上と生活環境の改善に寄与します。

厚生労働大臣登録番号	第17号
検査を行う地域	大阪府、兵庫県のうち神戸市・尼崎市・西宮市・芦屋市・伊丹市・川西市・三田市・宝塚市 及び猪名川町
検査を行う事業所	大阪府吹田市江の木町17番1号



◆日本万国博記念公園その他公共的施設の維持管理とその運営に寄与するための事業として、(公財)大阪日本民芸館の設備点検・臨時清掃、大阪モノレール(株)の給水設備点検整備等、その他空気環境測定などを実施しています。引き続き「建築物衛生法」の目的、基準等を遵守し管理業務を進めます。

～KKCで実施している研修、販売している刊行物の詳細はホームページでご確認ください～

関西環境開発センター

検索

URL <https://www.bmkkc.or.jp>



AIで効率化！ No.1 建物管理 クラウドシステム※ 管理ロイド



建物管理 利用会社数
クラウド システム No.1

建物管理 登録ユーザー数
クラウド システム No.1

AI検針 利用会社数
No.1

選ばれて、導入社数 1,400社以上！

シェアNo.1の建物管理システムだからこそ信頼と実績

※2022年6月期_指定領域における市場調査 調査機関：日本マーケティングリサーチ機構

管理ロイドが選ばれる理由

最大 66%
の業務効率化を実現

人的ミスが
0に

導入時のセットアップは
AIにお任せ

まずは実際の管理ロイドアプリ・WEBダッシュボード画面を使ってデモンストレーションさせてください！



ご相談は無料 お気軽にお問合せください

株式会社 THIRD

📞 050-3161-6971
✉️ support@kanri-roid.app

詳しい資料は
こちらからDL



株式会社 THIRD

連絡先 〒160-0004 東京都新宿区四谷4-25-13 濱庄ビル2F
TEL: 03-6274-8031



レンタルサービス



自動体外式除細動器 レスキューハート HDF-3500

医療機器承認番号：22700BZI00047000

高度管理医療機器

特定保守管理医療機器

・選任製造販売業者 オムロン ヘルスケア株式会社

・外国特例承認取得者 HeartSine Technologies Limited



※「AEDキャリングケース」「救急キット」をお付けします

安心のサポート込みのレンタルサービス



- ✓ご契約後、3年後に「電極パッドとバッテリー(除細動パッドパック)」を無償交換
- ✓「電極パッド」使用時も無償交換

AED講習会・救命講習会をサポートします

サニクリーン近畿ではAEDの正しい使い方を知っていただき、「いざ」というときに役立つ救命講習会を実施しています。
(年間約180回 社外講習会を実施)
企業・施設・地域への防災・安全対策に取り組んでいます。



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

サニクリーン近畿では「日本を快適にきれいにする」というスローガンのもと、事業活動を通して持続可能な開発目標を設定し、豊かな社会の実現に取り組んで参ります。

株式会社サニクリーン近畿

HPアドレス <https://www.sanikleen-kinki.co.jp>
連絡先 〒564-0043 吹田市南吹田5丁目14番29号
TEL: 050-3538-3290 FAX: 06-6385-5908

床からの感染を抑える

床に付着した菌の増殖を抑え、かつウイルスを減少させます。

抗ウイルス VIRUS BLUE ウイルスブルーコート COAT

抗菌・抗ウイルス床用樹脂仕上剤

病院・介護施設、幼稚園・保育園、飲食店・娯楽施設などの感染対策に。

液色は乳青色

QRコード

検索

より一層高まる安心感を



持続型 抗ウイルス・抗菌コーティング施工サービス
VI GUARD



- 安心・安全のシンボルSIAAを取得
- 光や温度の影響を受けて安定した効果を発揮
- 布・樹脂・金属など様々な素材に施工可能
- 利用者へ安心感を与える各種エビデンス保有
- 長期持続（約5年、素材により変化）



しっかり抗ウイルス・抗菌

人工ナノダイヤモンドの力で6つの効果が長期間持続する新しいコーティング施工です。



奈良県立医科大学 医学部で、特定ウイルスの99%減少効果を実証済み

詳しくはこちら → <https://go.cxs.co.jp/vi-guard-pt>

大切な場所には、きっと。



シーバイエス株式会社 www.facebook.com/CxSJapan
●本社／〒231-0023 横浜市中区山下町22番地(山下町SSKビル) お客様ご相談窓口 TEL.045-640-2280 FAX.045-640-2216

シーバイエス株式会社

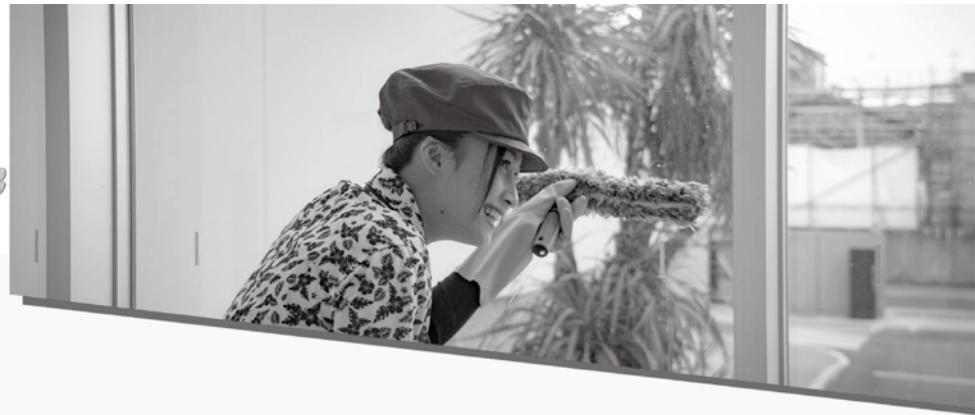
HPアドレス

<https://cxss.co.jp/company/office/co.jp>

大阪支店

〒532-0003 大阪府大阪市淀川区宮原3丁目5-24 新大阪第一生命ビル7F

TEL (ビルメンテナンス) : 06-6392-1531



ビルメンテナンス業界に新しい風を！

スマイルクリーパー協同組合は
外国人技能実習生の導入をサポートする
ビルメンテナンス業界専門の監理団体です

はじめて。

このたび大阪ビルメンテナンス協会の賛助会員として入会させていただきました
スマイルクリーパー協同組合と申します。

当組合は「外国人技能実習制度」において「清掃業種」に特化し、企業様を完全サポート
させていただく業界初の専門監理団体です。

技能実習制度に関心はあるけれど、いまいちよくわからない…
外国人材を受け入れてみたいけれど、コミュニケーションが不安…

まずはお気軽にご相談ください。

スマイルクリーパーはお客様に寄り添うご提案をお約束します。

詳細はこちら ↓

協会の会報と共に
毎月新しい情報をお届けいたします！



SmileCLEAPER



スマイルクリーパー協同組合

HPアドレス <https://www.smile-cleaper.com>
連絡先 〒 550-0025 大阪市西区九条南 3-13-24
TEL : 06-6626-9640 FAX : 06-6626-9642



スマート(賢い)クリーニングならマイティメイド

高効率 高機能 省エネ

業務用



省エネ設計&クリーンクリーニング

Mighty maid
Cordless vacuum cleaners

コードレスドライバキューム Powertank IV

マイティメイドパワータンク

フルモデルチェンジで新登場!!

圧倒的な作業効率

シリーズ最大の吸引力

新バッテリーロック機構



HEPA
フィルター対応
(オプション)

HEPA



Li-ion
リチウムイオン電池
はリサイクルへ

9
Ah

連続作動
60/45分
標準/パワー
吸引モード

※LV9N使用時

作動音
51/56dB
標準/パワー
吸引モード



Clean Innovation Company
ペンギンワックス株式会社

本社・工場 大阪市東成区東中本3-10-14 (〒537-0021) TEL06(6973) 9131

[ペンギンワックス](#)

東京支店 TEL 03(3387)9381

名古屋支店 TEL 052(824)1711

大阪支店 TEL 06(6973)9131

福岡支店 TEL 092(451)9411

札幌営業所 TEL 011(742)3701

仙台営業所 TEL 022(239)5161

北陸営業所 TEL 076(224)4281

広島営業所 TEL 082(509)5030

高松営業所 TEL 087(881)5067

ペンギンワックス株式会社 大阪支店

HPアドレス <http://www.penguinwax.co.jp/>

連絡先 〒537-0021 大阪市東成区東中本3丁目10番14号

TEL : 06-6973-9131 FAX : 06-6976-1456

マキタのロボットクリーナで 除塵作業を自動化

現場デモ
承ります!



ロボプロ
RoboPRO

大面積を効率良くキレイにする「ロボプロ」RC300D登場

特長 1

業務清掃に特化した プロ仕様



業務仕様の耐久性

オフィス、店舗、工場など
大面積清掃が可能なプロ仕様です。

特長 2

広範囲を効率良く清掃 マッピングに対応



予め清掃エリアを把握し効率的に清掃、
清掃履歴がスマートフォンで確認できます。

特長 3

マキタの 18Vバッテリで使える



ステイッククリーナでも馴染みのある
18Vバッテリーを2個並列使用できます。

充電式ロボットクリーナ **RC300DZ**

本体のみ/バッテリ・充電器別売



スマホアプリ対応
[マキタロボ RC300D]

清掃の進捗状況も表示



1充電作業量
約600m²
※1

連続作業時間
約4時間
(BL1860B×2本取付時)

本機寸法(外径)
500mm

ダストボックス
大容量3L

※1 数値は参考値です。バッテリの充電状態や作業条件により異なります。

146-8502 愛知県安城市住吉町3-11-8

TEL.0566-98-1711(代表) FAX.0566-98-6642

www.makita.co.jp

株式会社マキタ

株式会社マキタ 大阪支店

HPアドレス <http://www.makita.co.jp>

連絡先 〒530-0043 大阪市北区天満1-26-8

TEL : 06-6351-8771 FAX : 06-6352-4626

トイレ環境も清掃作業も まとめて快適化

トイレ用洗剤

日々の作業を
快適・省力化

こすらず落ちる洗浄力
少ない水でもさっと泡切れ
さわやかな香りで作業環境改善



NEXTトイレウォッシュ中性

コラボパワーで
効果アップ!!



バイオ消臭剤
**持続する消臭効果
で悪臭予防**

悪臭を元から分解
消臭効果が持続
スプレーするだけでOK

ニュー・スマルプラス™

プロのお掃除に関するお悩みを解決します。何かご不明点があればお気軽にご相談ください。

ニイタカグループ



ミッケル化学株式会社

〒556-0016 大阪市浪速区元町1-11-21

<https://miccheal.co.jp/>

【お問い合わせ先】

西日本:06-6634-5290 東日本:03-5633-2520

●掲載されている製品の外観は実際と多少異なる場合があります。
●製品の仕様・デザイン等は改善のため予告なしに変更する場合があります。
●必ず使用前に「使用方法」や「使用上の注意」等をよく読んでお使いください。
●ここに明記された以外の詳細事項に関しては、弊社発行の安全データシート、技術資料等をご質ください。

取扱店

AA2205

ミッケル化学株式会社

HPアドレス <http://miccheal.co.jp>

連絡先 〒556-0016 大阪市浪速区元町1丁目11番21号

TEL：西日本 06-6634-5290 東日本 03-5633-2520

ユシロ

除菌

消臭

抗
ウイルス

除菌効果が1週間続く

99%除菌
&
ウイルス除去※全ての菌、ウイルスを除去するわけではありません。

特許取得済

ビタミン系光触媒 除菌・消臭剤
ぴきやみん

ユシロ化学工業株式会社 大阪支店

HPアドレス <http://www.yushiro.co.jp>

連絡先 〒573-0005 枚方市池之宮3丁目5番1号

TEL: 072-848-7211 FAX: 072-848-7220

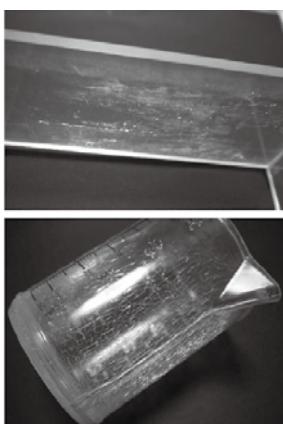
リンレイ『ハイジエニック除菌クリーナー中性』のご紹介

いつもお世話になつております。平素はリンレイ製品をご愛顧頂きまして誠にありがとうございます。この度は、どなたでも・何処でも、安心安全にご使用いただける洗浄と同時にウイルス除去、除菌^(※1)が可能な多目的除菌洗剤『R-SHSハイジエニック除菌クリーナー中性』をご紹介させていただきます。

新型コロナウイルス感染症が流行し、これまでさまざま感染予防対策が実施されております。除菌、ウイルス除去作業におきましては、これまでアルコール製剤を使用している場面が多くございましたが、同時に多くのユーザー様からアルコール製剤の危険性やデメリットを感じていらっしゃるとの声もお聞きしております。使用中の刺激臭やぬまい、手肌の荒れなど使用者への問題や、素材への影響、保管方法、使用期限等、使用上による制限などの問題です。特にアクリル、プラスチック樹脂素材に対し長期間使用している場合、曇りやヒビ割れ（ケミカルクラック）の発生などを多くお聞きしております。ハイジエニック除菌クリーナー中性は、そういういたアルコール製剤での様々な問題を全てクリアにし、感染対策におきましても確かなエビデンスを有する中性タイプの多目的除菌洗剤です。

『ハイジエニック除菌クリーナー中性』

- ・そのまま使えるストレートタイプ　容量…450㎖、18L、
 - ・エビデンス… 第三者機関による新型コロナウイルス不活化試験済み、
 - ・不活化有効な界面活性剤（塩化ベンザルコニウム0・05%）配合
 - ・作業性… 洗剤残りが少なく2度拭き不要
 - ・除菌効果が低下しますが、ハイジエニック除菌クリーナー中性はワンステップで洗浄と除菌が可能
 - ・使用箇所… 様々な素材、場所に使用可能
 - ・ローコスト… アルコール製剤と比較し40%前後のコスト削減
 - サンプルもご用意していますので、是非一度お試し下さいませ。
- (※1) すべての菌、ウイルスを除去できるものではありません



株式会社リンレイ 大阪支店

HPアドレス <http://www.rinrei.co.jp/>

連絡先 〒532-0005 大阪市淀川区三国本町2丁目1番10号

TEL : 06-6394-4571 FAX : 06-6394-4579



Every

マッスルスーツ Every

「着る、筋肉」

INNOPHYS

誰でも、いつでも、
どこでも手軽に。

空気圧によって腰部を中心としたからだの動きを助け、
重い荷物の持ち上げや、介護作業など、
中腰姿勢の保持をサポートし腰部を予防します。



-25.5kgf



<p>powerful 最大補助力25.5kgf 腰への負担を絶減し、腰痛を未然に防止。</p>	<p>eco friendly 省エネ</p>	<p>light weight 軽量 本体重量3.8kg 電動式に比べて大幅な軽量設計</p>	<p>介護のサポートに</p>	<p>雪かきなどの重労働に</p>
<p>simple 簡単 10秒で装着完了 操作も習熟要らず</p>	<p>good value 電動式アシストスーツに比べて 低コストで導入可能</p>	<p>water & dust proof 防水 防塵 悪天候の屋外や 水回りの作業でも安心</p>	<p>つらい姿勢を維持するときに</p>	<p>重いものを運ぶときに 装着方法は動画を チェック </p>

丸十服装株式会社

HPアドレス

<http://www.maluju-fuku.co.jp>

連絡先

〒551-0031 大阪市大正区泉尾2丁目3番3号

TEL : 06-6552-3921 FAX : 06-6554-8778

CONDOR
Trust of the Quality
山崎産業株式会社

shineclear
シャインクリア

バス・トイレ 除菌洗浄液 中性



用途 バスタブ(陶器製・樹脂製)洗浄 トイレ(便器、便座、便蓋、スイッチパネル等)洗浄・除菌

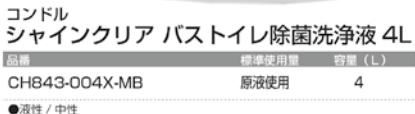
|洗浄 … 密着泡と独自の洗浄成分の作用で汚れをスッキリ落とします。

|除菌 … 対象面に生育する菌をしっかり除去します。

|消臭 … 緑茶エキスと爽やかなシトラスマントの香りで気になるニオイを消臭します。

|防汚 … 新開発の表面防汚コート成分で、洗浄後も汚れの付着を抑制します。

注1:特許出願中 *すべての菌を除去するわけではありません。



コンドル
シャインクリア バストイレ除菌洗浄液 4L

品番	標準使用量	容量(L)
CH843-004X-MB	原液使用	4

●液性 / 中性



耐薬品性
コンドルC スプレー容器500

品番	サイズ(φmm)	容量(mL)
FU802-000X-MB	幅約97×奥行約55×高さ約220	約500

●材質/スプレー本体:PP,容器:PE

山崎産業株式会社 第二営業本部大阪営業所

HPアドレス <http://www.yamazaki-sangyo.co.jp>

連絡先 〒556-0006 大阪市浪速区日本橋東3丁目10番2号

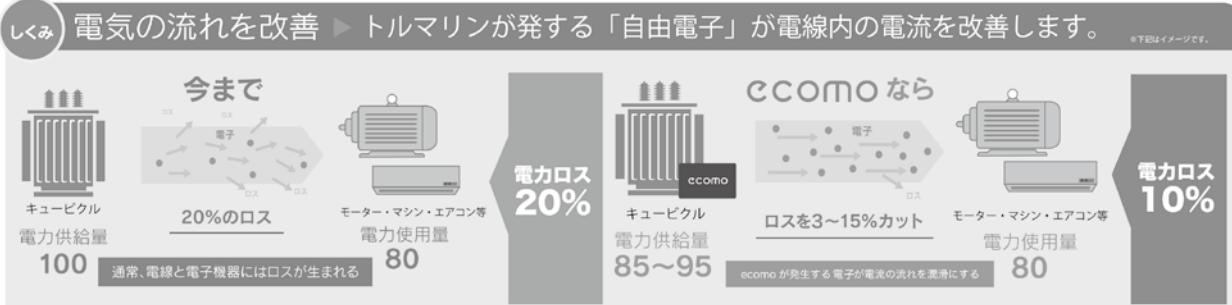
TEL: 06-6633-1255 FAX: 06-6632-0274

次世代節電ユニット
ecomo®
《特許取得商品》

コスト削減 CO₂削減

大手企業を中心に800カ所以上導入

エコモはトルマリン【電気石】による化学反応などにより、電線と電子機器の電力ロスを減少させて電気使用量を下げる、全く新しい次世代節電ユニットです。



実例とお客様の声 1
最初は本当に電気代が下がるか不安でしたが、節電の仕組みをしっかり説明していただいたので、導入済み工場の高い削減実績を拝見して導入を決めました。導入後は見込んでいた効果が出ており満足しています。
(大分県)

実例とお客様の声 2
電気使用量そのものが下がるので、CO₂排出量の削減にもつながり、環境にも優しいです。大変良い商品をご提案いただきありがとうございました。
(大阪府)

実例とお客様の声 3
省エネ・工場のコスト削減に繋がるということでお話を聞きましたで、設置を決めました。設置する前は少し心配でしたが、通電もしないですら熱も出ないで安心しています。実際、使用量で計測しているのですが、10%以上削減されています。
(群馬県)

大手自動車会社

300kVA

9.6%削減

馬肉加工場

150kVA導入

15.2%削減

大手食肉加工会社(神奈川県)

150kVA導入

飲料物流会社(群馬県)

350kVA導入

八木春産業株式会社・八木春株式会社

HPアドレス www.yagiharu.co.jp

連絡先 〒541-0054 大阪市中央区南本町3-3-22

TEL: 06-6251-2635 FAX: 06-6251-1099

編集後記

「OBM こみゅにけ～しょんず 盛夏号」をお届けします。

最も短く最も早い梅雨明けのあとは暑い日々が続いております。

コロナウイルス感染症は変異し、オミクロン株の BA.5 やケンタウロスが主流となる第 7 波となりました。感染症の拡大が続く中でも、日常生活は以前ほどの制限は受けなくなりましたが、経済活動の活性化のためには陽性者や濃厚接触者の療養・待機期間のより一層の短縮化も求められています。

2月 24 日に始まったロシアによる一方的なウクライナ侵攻は、リアルタイムに信じられないような映像が世界に配信され、それは現実社会で起きている出来事であるという衝撃を与え、各国の安全保障体制について従来の枠組みの見直しを迫りました。力を背景とした一方的な現状変更の試みは、世界平和の危機につながるものであります。侵攻による各國のエネルギー問題や食糧不足の問題、世界経済ではインフレが進み、スタグフレーションへの懸念が強まるなど、今後は更に厳しい世界情勢が予想されております。

7月 8日に安倍元総理が奈良の大和西大寺駅前で凶弾に倒れた姿は、日本のみならず全世界が悲しみに包まれました。安倍元総理の功績が連日報道され、銃撃現場などに設置された献花台には若い世代を含む大勢の方が連日弔問に訪れました。

一般人の方々が集まる選挙応援の演説中に起きた、日本の地方都市での白昼に起きた出来事とは思えない凶行シーンの映像が繰り返し報道され、鮮明に脳裏に焼き付きました。それは、今までの良好な治安や安全の常識を覆すには十分なものとなりました。

かつて「日本人は水と安全はタダだと思っている」と言われて来ましたが、最近では水道水よりペットボトルの水や近所付き合いよりホームセキュリティの設置など、少しでも安全で安心できる環境を求め費用をかける人が多くなって来ました。

2025 年の大阪・関西万博が開催される頃でも、ウイルス感染症が続いているかも知れませんし、大勢の観光客の安全対策などについてもより一層の対策が求められていくものと思います。

大阪協会は、社会環境の維持に携わるエッセンシャルワーカーの業界団体としまして、衛生環境や感染症対策などのほか警備・防災においても安全を第一として協会活動を行っていきますので、今後ともよろしくお願い申し上げます。

広報委員会

副 会 長 北川 卓

委 員 服部 哲也 福田 和哉

委 員 長 笹岡 之洋

矢野 かつ美 李 泰倫

副委員長 南 英夫

一般社団法人大阪ビルメンテナンス協会は
1970年日本万国博覧会
1990年国際花と緑の博覧会の実績を基に
2025大阪・関西万博の成功に
貢献します



社団法人全国ビルメンテナンス協会・
日本万国博覧会実施本部発行
「万国博を支えた人々」



社団法人全国ビルメンテナンス協会・社団法人大阪ビルメンテナンス協会発行
「花博をささえた人々」